

# 神奈川大学附属中・高等学校

KANAGAWA UNIVERSITY  
JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

2023年度 入試資料集



## 目次

神奈川県附属中・高等学校の教育	2
2022年度生徒募集要項	6
2022年度中学入試の結果	7
6年間の応募状況の推移	8
教科別入試の傾向	10
教科別入試の傾向(英語)	14
学力サポート	15
なんでもQ&A	16

### 資料編

・ 中学校・高等学校カリキュラム	24
・ 部活動	25
・ 各教科6年間の歩み	26
・ 大学入試の合格状況	28
・ 現役生の進路状況	29
・ 2022年度学校暦	30
・ 3年間総費用	32
・ 在校生の通学地域	33
・ 学校までの経路	34

### 神奈川県附属中・高等学校 校歌

作詞：栗原一登  
作曲：團伊玖磨

一、仰ぎ見ん 友よ わが空  
大いなり 富士も遥げく  
丘に立てば 夢は未来に  
翔けめぐる 若き喜び

君よ われ 君よ ここに学びて  
創造の日々を 日々を築かん

二、風雪の 四季を 耐え来て  
光呼ぶ 公孫樹の並木  
わが道は 世界に開き  
新たなる 時代を招く

君よ われ 君よ 試練を愛し  
剛健の姿勢 姿勢正さん

三、建学の 歴史 讃えて  
わが菊よ 久遠に薫れ  
歌え われ等 進取の青春を  
高らかに 学園 ここに

君よ われ 君よ 友垣堅く  
躍進の明日を 明日を求めん

### 沿革

1984年11月19日	認可(開校記念日)	1988年4月1日	男女共学に移行
1985年 4月 1日	男子校として開校	2004年4月1日	併設型中高一貫校に移行

# 神奈川大学附属中・高等学校の教育

本校は開校以来ずっと大切にしてきたものがあります。

それは、生涯にわたり「学び続ける」姿勢を身につけて欲しいという願いです。いかに社会が変化しようと、またどのような状況に置かれようとも、学び続け得た知識は自分を頑丈に守る鎧となり、自信をもって可能性を推進する力となります。

このことから「学び続ける」ことの素晴らしさ、尊さを、本校での学校生活から身につけてもらいたいと願っています。

## 建学の精神

### 質実剛健

伝統・古典を尊重し、  
良識を重んじ、正義を貫くこと。

### 積極進取

困難なことに対して  
積極的に挑戦し、  
進歩・進化を求めていくこと。

### 中正堅実

上記二つの価値観を深く自覚し、  
自律の精神と共生の視点から  
「探求・調和・融合」することにより、  
真理・本質を見極め、  
自主的・主体的を持って  
新たな価値を創造していくこと。

## 校訓

たくましく現代を生きる人物の  
育成に努める

真剣な  
学習をしよう

健康な心と  
体をつくらう

信愛の心を  
もとう

## 本校の特色

- ① 横浜の利便性の高い場所にありながら、豊かな自然環境に恵まれています。四季の移り変わりをキャンパス内の木々、花々、鳥のさえずりから感じられ、夏には蛍の観察もできます。
- ② ICT環境が整っており、全教室大型電子黒板、Wi-Fi、一人一台のタブレットPCを活用した授業を実施。探究の時間でも、情報収集・情報の共有・プレゼンテーションまでなくてはならないツールとして活用しています。
- ③ 中1から高1までの英会話、年1回の英語4技能検定試験、中学で実施している英語キャンプ(BEC)、高校1年でのPCを使った1対1のオンライン英会話、海外18大学への推薦入学制度(UPAA)など、グローバル社会で活躍できる人材を育成しています。
- ④ 神奈川大学への推薦の権利を有しながら、他大学を受験する進学校。9割以上が国内他大学・海外大学へ進学しています。
- ⑤ 6年中高一貫教育で高校への連絡進学時には選抜試験は行いません。高校募集は行っていません。
- ⑦ 併設型中高一貫校として、中学時で高校の学習内容を先取りするなど、大学受験に余裕を持ったカリキュラム編成です。

## 附属学校としてのメリット

- ① 神奈川大学へは、第1期推薦制度(11月)と第2期(3月)があり、第1期は、他大学受験希望者に対して入学権利を保持したまま他大学を併願できます。
- ② 高大連携プロジェクトが充実しており、遺伝子講座、宇宙エレベーター研究などの共同研究、大学訪問、大学教授による講義を受ける機会が多く用意されています。
- ③ 人工芝のグラウンド、本格的に整備されている陸上グラウンドなど、大学と施設を併用し授業や部活動を行っています。
- ④ 神奈川大学図書館などの大学施設を利用することができます。

## カリキュラムについて

- ① 第1ブロック(中1・中2)では数学・英語で少人数授業を行い、丁寧な指導で学力を保証します。第2ブロック(中3・高1)では数学・英語で少人数・習熟度別クラスを取り入れ、第3ブロック(高2・高3)の受験期に備えます。
- ② 中学校ではすべての教科で時間数を減らすことなく学習ができるように計画されています。体育、美術、音楽、技術・家庭もしっかり学んでもらいます。また、7限目などを工夫することで、国語・数学・英語は時間数を多く学ぶことができます。
- ③ 高等学校では、2年生から文系理系に分かれて学習することになります。文系では、国語、英語に加えて数学にも時間を多く配当し国公立大学への準備をしています。理系では、国公立を受験する生徒が多いことを意識したカリキュラムを作っています。
- ④ 探究の時間(中3・高1)では、生徒自ら興味のあるテーマを設定し、チームまたは個人で研究を進め、プレゼンテーションや論文にまとめていきます。自分たちの関心のある「問い」を立てて、研究方法を学びながら、主体性や協働性を育てます。
- ⑤ 中学から高度なICTスキルを身につけさせ、プログラミング、デジタルデザイン、プレゼンテーションなどクリエイティブな学びを展開しています。2025年より大学入学共通テストに「情報」が新科目として導入されますが、問題なく対応しています。

## 男女共学

- ① 完全な共学、共修、ジェンダーバイアスを設けない学校生活の実践として、体育実技および技術・家庭科実習の共修などを行っています。
- ② 体育実技については、男女共修が可能な種目を選び、6年間の指導計画を作成して実施しています。水泳では、個人メドレーができるように4泳法を身に付けることに取り組んでいます。
- ③ 家庭科の調理・被服実習も男女共修で実施しています。
- ④ 開校4年目の共学化以来、男女混合名簿を採用しています。

## 生徒個人への対応

### ① 生徒の心の支えは2段階で対応

第1段階 学級担任・部活動顧問によるカウンセリング

第2段階 専門家(スクールカウンセラー)によるカウンセリング

※保健室には養護教諭のほか看護師を配置し、専門的な医療知識をカバーしています。

### ② プライバシーを守る態度

・生徒住所録を配付しません。

・大学合格の校内掲示及び広報誌掲載は、本人および保護者の確認をとった上で掲載します。

・学校法人神奈川大学のプライバシーポリシーに則り、生徒ひとりひとりの個人情報を取り扱っています。

## 生徒の安全管理

### ① 大地震発生時の対応

政府は「南関東でM7クラスの地震が発生する確率は30年以内に70%」としています。本校では年2回の防災訓練だけではなく、広大な敷地を利用して横浜市消防局による防災ヘリ離着訓練も実施しています。

校舎は全館耐震構造で、すべての窓ガラスに飛散防止フィルムを貼り、安全な教室環境となっています。

### ② 危機管理マニュアル

生徒の日々の活動に対する安全を管理し、また、緊急事態発生時には教職員が組織的な対応が出来るよう行動手順をまとめた「危機管理マニュアル」を作成しています。

### ③ 備蓄・緊急用機材

以下のものを備蓄倉庫と緊急用機材倉庫(計4棟設置)に常備しています。

食料:ビスケット・クラッカー、アルファ米、パン(生徒一人1日3食3日分)

飲料:保存水(生徒一人3L) その他50mプールの浄水装置もあります。

寝具:防寒シート(全校生徒分)

その他:炊き出し用品、発電機、水中ポンプ、浄水装置、簡易トイレ(10台)、フィールドナイフ、ランタン等

### ④ 学校緊急情報の配信システム

気象警報が発令されたときや緊急事態の発生による下校が実施される場合には、学校公式HPに授業や学校行事の実施可否等について掲載します。その他にも「ウェブでお知らせ」による生徒ならびに保護者の方へのメール配信システムを導入しています。また、神奈川県で震度5以上を記録する地震が発生した場合、自動で安否確認が起動する「レスキューナウ」も採用し、生徒の携帯電話・スマートフォンに配信します。

### ⑤ 警備体制

警備員が24時間常駐しています。女性警備員も配置し、校舎内外の警備に当たっています。来校者は、「来校者」「見学者」「取引業者」等のプレートを付けています(在校生の保護者は、緑会(PTA)が会員証を発行し、それを来校時に付けます)。

### ⑥ 教員や生徒への講習

教員は救急蘇生法やAED(8台設置)の使用方法を含めた普通救命講習を受けています。同様に、運動部部員を中心に $\frac{1}{3}$ の生徒も受講しています。また、アレルギーのある生徒のアナフィラキシーショックに備えて、エピペン®練習用トレーナーを用いた教員向けの講習を実施しています。

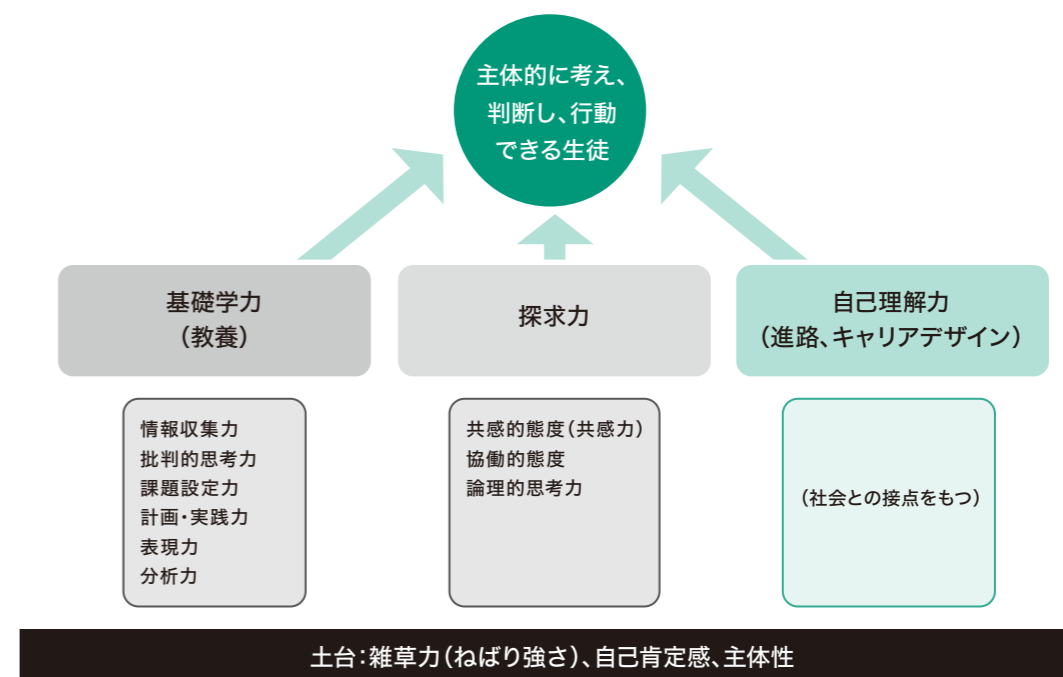
## 探究の時間

・週に1時間、中3の総合的な学習の時間と高1の総合的な探究の時間を合同で実施しています。

・1年間でリサーチクエスチョンの作成、情報収集、情報の整理・分析、中間発表(プレゼンテーション)、論文作成を行っています。中3、高1と2度経験することで、探究する姿勢を深めていきます。

・生徒の興味・関心を大切に、多様な分野の探究を行っています。

・教員一人につき20名程度の生徒が一つのゼミとして活動するので、教員と生徒、生徒同士のコミュニケーションを多くとることができます。個人、または班で探究を深めます。ゼミの中で交流することで、協働性を育てています。



## 部活動 ▶ P. 25

生徒が自主的・自発的に参加する活動として、自由な参加となっています。スポーツや文化的な活動に親しみながら、心身共に成長できる活動環境を整えています。

<運動部>

サッカー部、野球部、水球部、剣道部、陸上競技部、硬式テニス部、バレーボール部、バスケットボール部、なぎなた部、卓球部

<学芸部>

音楽部、演劇部、理科部、美術部、技術家庭科部、漫画研究部、囲碁・将棋部、歴史研究部

・学校生活や学習とのバランスを考慮し、週4日以内の活動です。

・キャンパス内の人工芝グラウンド、全天候型陸上グラウンドをはじめ多様な施設を使って、伸び伸びと活動できます。

・各部活動には顧問教員のほか、部活動指導員、部活動コーチ制度を設け、専門的な技術指導を行なっています。

## 特徴ある取組

・中1から高2にかけて、いのちや思いやりをテーマに、福祉体験授業や医療現場での医師や看護師の講演会「いのちの授業」を実施しています。また希望者に対して、病院での体験学習も実施しています。

・地域清掃などのボランティア活動を通して、生徒の自主的な活動を支援していきます。このような自律的な精神に誇りを持つことを本校では「KUプライド」と呼んでいます。



# 2022年度 生徒募集 要項

	帰国生入試	第1回入学試験	第2回入学試験	第3回入学試験
学力検査日	2021年12月22日(水) 8:25集合(開場:8:00)	2022年2月1日(火) 15:00集合(開場:14:30)	2022年2月2日(水) 8:25集合(開場8:00)	2022年2月4日(金) 8:25集合(開場:8:00)
募集人数	男女若干名	男女60名	男女120名	男女20名
出願期間	2021年12月1日(水)10:00 ～ 2021年12月18日(土)23:59	2022年1月7日(金)10:00 ～ 2022年2月1日(火)6:00	2022年1月7日(金)10:00 ～ 2022年2月2日(水)6:00	2022年1月7日(金)10:00 ～ 2022年2月4日(金)6:00
出願資格	2022年3月に小学校を卒業見込みで、2022年4月1日時点で通学圏内に居住している児童			
帰国生入試 出願資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年3月に小学校を卒業見込みで、2022年4月1日時点で通学圏内に居住している児童。</li> <li>・保護者の海外在留に伴って海外で教育を受け、滞在期間が帰国時まで継続して1年以上、かつ2018年4月以降に帰国した者。</li> </ul>			
出願方法	<p><b>全日程 インターネット出願</b></p> <p>①出願に必要な情報を全てインターネット上で入力し、入学検定料を納入してください。</p> <p>②①の出願手続完了後、「受験票・志願票」を印刷してください。</p> <p>③学力検査当日は、「受験票」と「志願票」を切り離して、両方とも持参してください。</p> <p><b>&lt;帰国生入試の場合&gt;</b></p> <p>帰国生入試をご希望の方は、インターネットでの出願に加え、以下2点の書類を簡易書留にて郵送してください。</p> <p>提出期間:2021年12月1日(水)～18日(土)【必着】簡易書留</p> <p>提出書類:①帰国生報告書(本校所定用紙。本校ホームページよりダウンロードし、記入してください。)</p> <p>②海外在留証明書(保護者勤務先作成、自由書式)</p> <p>送付先:〒226-0014 神奈川県横浜市緑区台村町800 神奈川大学附属中学校 事務室</p>			
入学検定料	25,000円	25,000円	25,000円	25,000円
	<p>※一旦納入された入学検定料は返金致しません。</p> <p>第1回から第3回入学試験の3日程併願の場合 50,000円</p> <p>※3日程同時出願に限り、割引となります。</p> <p>※一旦納入された入学検定料は返金いたしません。</p>			
試験科目	算数50分・英語50分 各100点	国語50分・算数50分 各100点	国語50分・算数50分 各100点 理科40分・社会40分 各75点	国語50分・算数50分 各100点 理科40分・社会40分 各75点
合格発表	2021年12月22日(水)22:00	2022年2月1日(火)23:30	2022年2月2日(水)22:00	2022年2月4日(金)22:00
	<p>本校ホームページにておこないます。 (<a href="http://www.fhs.kanagawa-u.ac.jp/">http://www.fhs.kanagawa-u.ac.jp/</a>)</p> <p>※状況により発表時刻は、予定より前後することがあります。</p> <p>※合格証は合格発表のページから各自印刷してください。「通知書」のボタンから印刷ができます。</p> <p>本校にご来校頂いての合格証の交付、合格者の掲示は行いません。</p>			
入学 金納 入期 限	帰国生入試	第1回、第2回入学試験	第3回入学試験	
	2022年1月6日(木)14:00まで	2022年2月4日(金)14:00まで	2022年2月5日(土)14:00まで	
	<p>合格発表のページから入学金決済サイトにアクセスし、入学金を納入してください。</p> <p>本校窓口での支払いはできません。期間内に手続きをされない場合は、入学資格を取り消します。</p> <p>また、いったん納入された入学金は返金いたしません。</p> <p><b>入学金:230,000円</b></p>			
入学 手続 書類 の 発 送 日	2022年2月5日(土)発送			
	<p>入学金納入者に、「入学手続き書類」を郵送いたします。内容を確認し、必要事項をご記入の上、2022年4月11日(金・祝)の入学者登校日に持参してください。</p>			

※この表は2022年度「生徒募集要項」です。2023年度「生徒募集要項」は10月に公表予定です。

※障がいや病気・負傷等により、受験および学校生活に関し配慮を希望する方は、出願する前に、必ず本校事務室までご相談ください。

# 2022年度 中学入試結果

	帰国生入試			第1回入試			第2回入試			第3回入試			全体		
	2021年12月22日			2022年2月1日			2022年2月2日			2022年2月4日					
	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子
募集人数	10			60			120			20			210		
応募者数	33	21	12	770	389	381	817	430	387	580	295	285	2200	1135	1065
受験者数	32	20	12	720	357	363	680	370	310	338	179	159	1770	926	844
合格者数	16	9	7	260	101	159	224	122	102	47	18	29	547	250	297
実質倍率	2.0	2.2	1.7	2.8	3.5	2.3	3.0	3.0	3.0	7.2	9.9	5.5	3.2	3.7	2.8

※実質倍率=受験者数÷合格者数 ※合格者数は追加合格も含む

		帰国生入試			第1回入試			第2回入試			第3回入試			
		合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	
総合	受験者	最高点	190	170	190	170	163	170	288	288	286	263	248	263
		平均点	135.2	133.7	137.6	120.3	117.0	123.6	191.3	191.5	191.1	183.0	177.0	189.7
	合格者	最高点	190	170	190	170	163	170	288	288	286	263	248	263
		最低点	141			128			206			214		
	平均点	157.7	159.2	155.7	142.2	141.4	142.7	227.5	228.3	226.5	228.9	224.3	231.8	
国語	受験者	最高点				80	80	80	79	73	79	86	79	86
		平均点				53.1	50.3	55.7	49.4	46.9	52.4	49.4	43.9	55.6
	合格者	最高点				80	80	80	79	73	79	86	79	86
		最低点				42			32			34		
	平均点				61.5	58.9	63.1	57.7	55.5	60.3	65.3	59.0	69.1	
算数	受験者	最高点	97	89	97	100	100	100	100	100	95	80	80	75
		平均点	67.8	66.4	70.2	67.2	66.7	67.8	58.6	59.4	57.6	48.5	48.0	49.0
	合格者	最高点	97	85	97	100	100	100	100	100	95	80	80	75
		最低点	57			59			43			46		
	平均点	76.6	71.7	83.0	80.7	82.5	79.6	73.0	73.4	72.5	61.9	63.3	61.1	
理科	受験者	最高点							73	73	64	62	61	62
		平均点							38.4	39.4	37.3	42.1	42.4	41.8
	合格者	最高点							73	73	64	61	61	61
		最低点							28			33		
	平均点							45.4	46.5	44.0	50.0	50.1	50.0	
社会	受験者	最高点							67	65	67	67	60	67
		平均点							44.9	45.8	43.8	43.0	42.7	43.3
	合格者	最高点							67	65	67	67	60	67
		最低点							34			43		
	平均点							51.4	52.8	49.7	51.7	51.9	51.6	
英語	受験者	最高点	96	96	93									
		平均点	67.4	67.4	67.4									
	合格者	最高点	96	96	93									
		最低点	51											
	平均点	81.1	87.6	72.7										
配点 / 合計点		算数・英語 各100点 合計200点			国語・算数 各100点 合計200点			国語・算数 各100点 理科・社会 各75点 合計350点			国語・算数 各100点 理科・社会 各75点 合計350点			

※入学者 帰国生3名、第1回65名、第2回124名、第3回36名、合計228名(男子104名、女子124名) 追加合格24名

# 6年間の応募状況の推移

## 帰国生入試(若干名)

年度	応募者数	受験者数	合格者数	実質倍率	入試ボーダーライン	受験者平均点
2022	33 男21 女12	32 男20 女12	16 男9 女7	2.0	141【71%】	157.7 男159.2 女155.7
2021	29 男18 女11	28 男17 女11	16 男11 女5	1.8	110【55%】	110.6 男114.2 女105.2

## 第1回入試(定員60名)

( )は帰国生徒数

年度	応募者数	応募倍率	受験者数	合格者数	実質倍率	入試ボーダーライン	受験者平均点
2022	770 男389 女381	12.8	720 男357 女363	260 男101 女159	2.8	128【66%】	120.3 男117.0 女123.6
2021	554 男283 女271	13.8	492 男249 女243	223 男105 女118	2.2	133【67%】	126.6 男123.9 女129.4
2020	737(12) 男360(6) 女377(6)	5.3	638(12) 男313(6) 女325(6)	316(6) 男166(2) 女150(4)	2.0	243【61%】	237.7 男241.3 女234.3
2019	805(6) 男424(5) 女381(1)	5.8	700(6) 男370(5) 女330(1)	324(3) 男173(2) 女151(1)	2.2	250【63%】	240.8 男241.3 女240.3
2018	778(13) 男440(6) 女338(7)	5.6	686(12) 男382(6) 女304(6)	326(5) 男186(1) 女140(4)	2.1	260【65%】	252.3 男251.7 女253.1
2017	824(14) 男465(6) 女359(8)	5.9	732(12) 男418(5) 女314(7)	316(8) 男177(3) 女139(5)	2.3	272【68%】	261.2 男261.6 女260.6

※2020年～2017年まではA日程(定員140名:含帰国生徒10名)、400点満点(国語・算数・理科・社会 各100点)、  
2021年以降は200点満点(国語・算数 各100点)



## 第2回入試(定員120名)

年度	応募者数	応募倍率	受験者数	合格者数	実質倍率	入試ボーダーライン	受験者平均点
2022	817 男430 女387	6.8	680 男370 女310	224 男122 女102	3.0	206【59%】	191.3 男191.5 女191.1
2021	705 男363 女342	5.9	559 男298 女261	263 男151 女112	2.1	217【62%】	209.5 男210.0 女208.9
2020	533 男275 女258	11.8	266 男126 女140	85 男44 女41	3.1	245【61%】	228.0 男228.8 女227.3
2019	653 男325 女328	14.5	360 男189 女171	81 男35 女46	4.4	245【61%】	220.8 男217.3 女224.6
2018	606 男317 女289	13.5	370 男187 女183	79 男29 女50	4.7	262【66%】	235.0 男228.9 女241.2
2017	695 男361 女334	15.4	377 男200 女177	72 男32 女40	5.2	287【72%】	254.9 男252.6 女257.5

※2020年～2017年まではB日程(定員45名)、400点満点(国語・算数・理科・社会 各100点)、  
2021年以降は350点満点(国語・算数 各100点、理科・社会 各75点)

## 第3回入試(定員20名)

年度	応募者数	応募倍率	受験者数	合格者数	実質倍率	入試ボーダーライン	受験者平均点
2022	580 男295 女285	29.0	338 男179 女159	47 男18 女29	7.2	214【61%】	183.0 男177.0 女189.7
2021	490 男232 女258	12.3	251 男117 女134	41 男22 女19	6.1	199【57%】	168.5 男168.2 女168.7
2020	458 男231 女227	30.5	194 男92 女102	26 男10 女16	7.5	164【55%】	135.6 男130.9 女139.9
2019	570 男298 女272	38.0	288 男166 女122	19 男12 女7	15.2	203【68%】	161.6 男159.9 女164.0
2018	514 男286 女228	34.3	258 男152 女106	16 男10 女6	16.1	223【74%】	183.3 男182.1 女185.1
2017	627 男350 女277	41.8	309 男171 女138	17 男10 女7	18.2	217【72%】	183.4 男182.7 女184.3

※2020年～2017年まではC日程(定員15名)、300点満点(国語・算数 各100点、理科・社会 各50点)、  
2021年以降は350点満点(国語・算数 各100点、理科・社会 各75点)

# 教科別入試の傾向

## 国語

### 【出題の基本方針】

国語は、2021年度入試から第1回目と第2回・第3回では出題内容を変更しています。第1回では、短い時間で情報を処理する力と俯瞰する力に重点を置いた内容になっています。第2回・第3回は思考力と発信力に重点を置いた内容になっています。

### 【出題内容のポイント】

#### <出題内容>

第1回	第2回・第3回
(一)漢字	(一)漢字
(二)説明的な文章	(二)社会的な問題についての作文
(三)文学的な文章	(三)説明的な文章
	(四)文学的な文章

#### <学習のポイント>

作文や記述問題では基本的な点(原稿用紙の使い方を守る、「～ということ。」と「～だから。」を区別するなど)に注意し、選択問題ではより多くの要素を盛り込んだ選択肢を選ぶように意識するのがよいでしょう。

### 【今年度の入試を振り返って】

第1回: この日程の受験層の国語力の差が小さくなったことで、難易度の低い問いに確実に正解する力=本文の内容を自分勝手に解釈したり表現をなぞるだけになったりせずに正しく理解する力が、合格の必須条件となりました。

第2回: 時間配分をしっかりとし、落ち着いて記述問題に取り組めたかどうか合否につながったと思います。[三][四]の記述問題は、傍線部の前後だけを読むのではなく、文章全体をとらえて答える力が必要です。

第3回: [二]の作文で点数が取れたかどうか合否につながっています。設問をよく読み、必要な要素を考え、正しい日本語で自分の考えを書くことができたかがポイントとなっています。

### 【受験生へのメッセージ】

漢字は小学校の学年別漢字配当表に示されている漢字から出題されます。4年生配当以上を重点的に勉強するとよいでしょう。画数が変わると正解にはならないので、一点一画、丁寧に書きましょう。文章全体を見渡して整理する目と細部を逃さず読み込む目を同時にもてるように、日常的に意識してほしいです。



## 算数

### 【出題の基本方針】

算数は筋道を立て、根気強く問題を解いていく教科です。本校では、基本的な計算力があり、課題にしっかり取り組み、最後までねばり強く問題を解く姿勢をもった生徒に入学して欲しいと考えていますので、そのような力を測る問題作りに努めています。

### 【出題の内容と学習のポイント】

本校の入試問題は、基本～標準レベルの問題で構成されています。「図形」「変化と関係」「データの活用」の各領域よりまんべんなく出題され、問題数は小問で20題程度です。また、解答形式は、短い文章で理由を答えてもらう問題や文章の抜けている部分を短い文章で補う問題が1題、残りはすべて答えのみを問う形式の問題です。第1回、第2回、第3回の全日程で、1は計算問題、2はそれぞれが独立した小問集合、3以降は思考力を問う問題です。1、2は基本事項を問う問題ですので全問正解できる力をつけておきましょう。3以降は、問題の内容を正しく理解し、筋道を立てて解答を導き出す力を必要とします。大問の(1)は確実に解き、そのうえで(2)以降の問題も1問でも多く正解できる力をつけましょう。解法を暗記するのではなく、何故そうなるのかを常に明確にし、しっかり時間をかけて考えることを習慣づけてください。

### 【今年度の入試を振り返って】

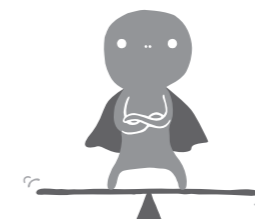
1はすべての受験生がおおむね高得点をあげておりました。2は速さや割合、図形の問題で正答率の差が見られました。3以降は、特に第1回では6の図形を題材にした文章題、第2回では6の速さとグラフの問題で正答率の差が大きく見られました。前述のポイントの通り、内容を理解し筋道を立てて解答する力が必要な問題がいくつかありましたが、多くは過去に出題した問題と傾向は似ています。過去問を中心に、日々の学習を積んでいくとよいでしょう。

### 【受験生へのメッセージ】

算数では確かな計算力をつけるのはもちろんですが、文章題を考えるときにいくつかの考え方ができることが大切です。日頃より「思考力」に磨きをかけて入試に臨んでください。

### 合格するための「しっかり」5か条 ～算数入試対策～

1. 基本的な計算力をしっかり身につける(毎日、計算練習をする)。
2. 平易～標準的な文章問題を繰り返し解いてしっかり自分のものにする。
3. 基本的な図形の性質をしっかりおさえ、図形の問題に慣れておく。
4. 1～3に取り組むためのノート作りをしっかりとる。
5. 頭と手をしっかり使う(式、図、グラフを正しく書く)。





## 【出題の基本方針】

第2回、第3回日程に関して、理科の問題の全体的な傾向は例年と変わらない予定です。どの問題も実験や観察をもとにした問題になります。

## 【出題の内容と学習のポイント】

①大問は4問の予定です。

大問ごとに物理、化学、生物、地学の4分野からそれぞれ出題します。

大問ごとの配点はおよそ均等で、10問程度の小問を出題します。その中に、他分野の内容が混ざることもあります。

②学習のポイントは、教科書を隅々までよく読み、理解しておくことです。

教科書の実験や観察はもちろんのこと、「資料」「発展」などもよく読み、理解しておきましょう。また、学習した内容が身近な現象とどのように関係しているのかなど、気がついたことなどをノートに書いておくことも大切です。

## 【今年度の入試を振り返って】

第2回入試…物理：モーターのつくりの問題で正答率が低くなりました。

化学：長文を読み進めながら解いていく問題では正答率に差が見られました。

生物：身の回りの自然についての問題で正答率が低くなりました。

地学：天体分野の正答率が低くなりました。

第3回入試…物理：与えられた図を問題文にあわせて操作するような問題で正答率が低くなりました。

化学：溶解度の計算問題では、混合物を扱う問題で正答率が低くなりました。

生物：文章から読み取り、複数の解答tを行う問題では、正答率が低くなりました。

地学：語句など知識問題はできていますが、実際の自然現象と結びつける問題の正答率が低くなりました。

第2・3回日程ともに、すべての分野を通して、図やグラフ、文章の読み取りなどで得点の差が見られました。基本的な知識を問う問題であっても、複数解答を求める問題の正答率は低い傾向が見られました。また図やグラフ、文章の読み取りは正答率に差が開きがちです。基本的な問題を形式通りに覚えるのではなく、本質を理解して解くことが大事です。まずは、教科書の内容を徹底的に理解し、書いてある文章をじっくりと読み解くことが重要です。

## 【受験生へのメッセージ】

勉強に取り組む際、基礎・基本を大切にしましょう。また、自然現象を知識として覚えるのではなく、なぜその現象が起こるのか、どのようにしてその現象が起こるのかを考えながら勉強できる人たちがたくさん入学してくれることを楽しみにしています。



## 【出題の基本方針】

(1)重要な用語や出来事など、基礎的知識がしっかりと定着しているかを問う。

(2)知識と知識を結び付け、社会的事象の内容や背景が理解できているかを問う。

(3)リード文や統計・図表や歴史史料などの資料の読み取りを通じて、社会的事象に対する認識力を問う。

## 【出題の内容と学習のポイント】

2023年入試も昨年同様、地理的分野、歴史的分野、公民的分野という構成と配点になります。本校の社会科の入試問題では、リード文や統計・図表や歴史史料など各種資料にじっくり、粘り強く向き合い、それらの内容を正しく読み取る学習が必要です。出題形式としては、漢字指定の問題もあるので、用語や人物名は漢字で書けるようにしましょう。また、各分野で用語等の意味や背景等について説明する問題を出題することもあります。

(1)地理的分野

産業・人口・自然環境・貿易などから、日本の特徴や日本の各地域の特徴について出題します。また、日本と関係の深い国や、特徴的な国についても把握しておきましょう。地図や統計資料を読み取る問題もあるので、それらの資料から何が分かるのか、じっくり読み取る学習を心掛けましょう。

(2)歴史的分野

特定の時代に偏ることなく、古代から現代までの重要な出来事、用語、人物、しくみについて出題します。歴史的事象の内容やその背景についての正誤問題、また、歴史的事象に関する並び替えの問題も出題するので、それらを歴史の流れのなかで、時期や時代を意識して内容を正確に読み取り、理解できるようにしましょう。

(3)公民的分野

日本の政治や社会のしくみを中心に出題します。時事問題を題材に出題することもあるので、日頃から報道などで社会のあり方や動向に注意を払い、関心を持つようにしましょう。

## 【今年度の入試を振り返って】

全体としては「正しく読み取れているか」で差がはっきりわがれました。分野ごとに見ていくと、地理的分野では統計・図表の読み取りや、2つ以上の要素を組み合わせで解答する問題で、歴史的分野では正誤を正しく判断する問題や、資料を読み取って考察する問題で差がつかまりました。また、公民的分野では、知識を具体的な政治過程にあてはめる問題でとくに正答率が低い傾向にありました。用語を覚え、基本的な内容をしっかりと理解することとともに、リード文や統計・図表や歴史史料などの資料の読み取りや記述形式の問題でも正しく読み、「何が問われているのか」を把握することが正解を導くために重要です。リード文や統計・図表や歴史史料など各種資料にじっくり、粘り強く向き合い、それらの内容を正しく読み取る学習を心がけてください。

## 【受験生へのメッセージ】

社会科を含め、あらゆる学習に知識は必要不可欠です。だからまず、知識を蓄える学習をしっかりと行ってください。そのうえで、その知識について「なぜ」「どうして」と考え、知識と知識の結び付きを考える。そして、リード文や統計・図表や歴史史料など各種資料にじっくり、粘り強く向き合い、内容を正しく読み取る。こうした取り組みが「考える」土台であり、中学・高校での学習や、大学・社会での学びにつながります。受験生のみなさんは、受験勉強を通じて、わたしたちが生きている社会に対する「見方」「考え方」を深めてください。





## 【出題の基本方針】

英語には、実践的なコミュニケーション能力と、基礎を成す単語力や文法力の両方が不可欠です。試験問題は、基礎的な知識から読解力、作文力に至るまで、幅広い能力を測れるよう構成されています。

## 【出題の内容と学習のポイント】

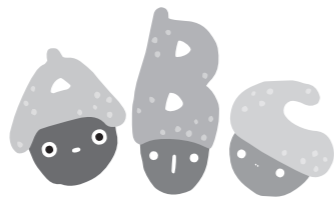
- 大きく、文法問題、会話文問題、長文読解問題、英作文問題から構成されます。
- ・文法問題：四肢選択空所補充問題や並べ替え問題を中心に、大問2問程度を出題します。基本的な文法事項を疎かにせず、正しい英文を完成させる練習を行きましょう。
  - ・会話文問題：会話文中に設けた空所を選択肢から補充する問題を、単語数を変えて大問2問程度出題します。特に長い会話文の問題では、その会話の状況を具体的にイメージし、文脈に合う選択肢を選びましょう。
  - ・長文読解問題：400語程度の長文を読み、その内容を問う問題を、大問2問程度出題します。多くが選択式の問題ですが、一部に英単語や日本語文を記述する問題も出題されます。文章の要旨と全体の流れを捉えるようにしましょう。
  - ・英作文問題：与えられたトピックに対して、自分の考えを英語で述べる問題を、大問1問分出題します。限られた時間の中で、まとまった量の文章の書く練習を行きましょう。

## 【今年度の入試を振り返って】

文法問題については、基礎的な文法事項を問う問題であっても、準備してきた受験生と、そうでない受験生の間で大きく差が開きました。会話文問題は正答率が非常に高く、どの受験生も良く解答できていました。また、長文読解問題と英作文問題についても良く解答できていましたが、一部の設問で、問われている内容から逸脱した解答も散見されました。

## 【受験生へのメッセージ】

みなさんが将来英語を使う時、友人との日常会話であれば、限られたボキャブラリーで十分ですし、文法的に誤っていても全く問題はありません。一方、ビジネスなどの場で、文化や経験を共有していない方とコミュニケーションを取る時は、誤解の生まれないよう、誰でも理解できる英語を使う必要があります。その意味で、「出題の基本方針」でも記した、実践的なコミュニケーション能力と基礎的な単語力・文法力の両方が、中学校以降の英語では大切になってきます。その2つを、私たちと一緒に高め合える人たちとの出会いに期待しています。



## 学力サポート

入学した生徒一人一人の学力向上と多様な進路をサポートします。

## 英会話授業(中学1年～高校1年)

週1回の英会話の授業では、1クラスを2分割して少人数授業を行っています。英語圏各国から来ているネイティブの教師とのコミュニケーション活動を積極的に取り入れています。また、高校1年では週1回オンライン英会話の授業があり、海外の講師と1対1で会話を楽しんでいます。

## 少人数・習熟度別授業(全学年)

第1ブロックでは数学・英語で少人数授業をおこない、丁寧な指導で学力を保証します。第2ブロックでは数学・英語で少人数習熟度別クラスを取り入れ、第3ブロックの受験期に備えます。

## 7限講習(中学3年～高校3年)

水曜日～金曜日の7時間目に、希望者が受講できる講習を実施しています。講習では普段の授業では扱っていないレベルの高い内容を扱うこともあります。

## 長期休業期間の講習(全学年)

長期休業期間に希望者による講習を開講しています。講習は午前中に行われ、2時間続き4日間を基本としています。「背伸びする現代文」「自然環境の地理」「英文読解演習(早慶)」などテーマを絞った講座が数多く開かれています。

夏休みには、中学3年・高校1年で選抜制の特別講習を実施しています。特別講習は、普段の授業よりもかなり高度な内容に挑戦してもらいます。

## 帰国生向けのディスカッションクラス(帰国生)

週1回、ネイティブの先生と、時節や社会の話題について英語で会話する場を設けています。帰国生達の学年を超えた交流ができる場所になっています。

## ティーチングアシスタント(TA)による学習支援

本校卒業生による学習・進路のサポートです。学習計画と一緒に作る、受験を終えた先輩に勉強を教わる、大学での学習・研究を聞いて進路を考える、等様々な形で、先輩が後輩を支援する制度です。

## 一人一台タブレットPC(全学年)

中学1年2学期より全員がタブレットPCを購入し、毎日の授業、宿題の提出、教材の配信、オンライン授業などに利用しています。Classi、スタディサプリ、ロイロノート、CollegePathway、Zoom等のシステムを使って、学習履歴を管理しながら学んでいます。

# なんでも Q&A

## A: 入試について

Q 2022年度の合格者数とその男女比を教えてください。

A:	帰国生	第1回	第2回	第3回	合計
男子(53.2%)	9名	101名	122名	18名	250名
女子(46.8%)	7名	159名	102名	29名	297名
合計(100%)	16名	260名	224名	47名	547名

Q 繰り上げ合格はありますか？

A: はい、あります。2022年度は第1回、2回、3回とそれぞれ追加合格を出しました。合計24名でした。

Q 複数回受験への優遇措置はありますか？

A: それぞれの日程を出願する際の検定料は各日程25,000円ですが、3日程を同時に出願する場合の検定料は50,000円です。

Q 4教科入試ですか？

A: 帰国生入試は英語・算数の2教科、各50分、各教科100点満点、合計200点満点で実施します。  
第1回入試では国語・算数の2教科、各50分・各教科100点満点、合計200点満点で実施します。  
第2回、第3回入試では国語・算数・理科・社会の4教科、国語と算数は各50分・各教科100点満点、理科と社会は各40分・各教科75点満点、合計350点満点で実施します。

Q 算数の式や計算は採点されますか？ また理科の用語や社会の地名・人名は、漢字指定ですか？

A: \*算数は、文章で理由を答えさせる形式の問題が一題、その他は計算結果のみの解答です。ただし、作図解答を求められる場合もあります。  
\*漢字指定もあります。人名は苗字と名前を正しく書けるようにしてください。  
\*なお、社会は時事問題、理科では実験・観察学習を重視した問題を出題します。実験の手順などを教科書でよく復習しておいてください。

Q 問題の難易度と、第1回・第2回・第3回入試間での難易度に差はありますか？

A: 難問・奇問は無く、全問とも標準的な問題です。小学校で学習すべき内容を中心に問題を作成しています。第1回・第2回・第3回入試間での問題の難易度に差はありません。記述式解答を求める問題は、なぐり書きではなく、ハネや止メなどが良く分かるように、十分な筆圧で丁寧に解答してください。

Q 特待生制度とは何ですか？

A: 成績優秀であり、他の生徒の模範となる者(各学年5名以内)を特待生として、1年間の授業料に相当する奨学金(米田吉盛教育基金奨学金)を給付する制度です。新入生については、入学試験により各試験ごとに高得点順に特待生を決定します。第1回2名、第2回2名、第3回1名の合計5名です。

Q 小学校に発行を依頼する書類はありますか？

A: 出願に際して小学校に依頼する書類はありません。また、通知票のコピー等も必要ありません。

Q 帰国生入試について教えてください。

A: 12月22日(木)に実施します。出願書類は、入学願書のほか帰国生報告書(本校所定用紙)と海外在留証明書(保護者勤務先作成、書式自由)が必要になります。検査科目は算数と英語の2科目です。

Q 学費の分納はできますか？

A: 本校には、月分納、二期分納、一括納入という3つの支払い方法があります。すべて「ゆうちょ銀行」での自動支払いになります。詳細は合格手続の時に配付される「入学手続要項」に示しています。

Q 入試のことでわからないことは、どこへたずねたらよいですか？

A: 入試「なんでも相談」コーナーを設けて、Eメールでご相談、ご質問をお受けしています。  
公式ホームページの「お問い合わせ」よりメールでご相談で質問をお受けしています。  
<学校に関するお問い合わせ> ✉ [highschool@kanagawa-u.ac.jp](mailto:highschool@kanagawa-u.ac.jp)  
<入試に関するお問い合わせ> ✉ [fuzoku-koho@kanagawa-u.ac.jp](mailto:fuzoku-koho@kanagawa-u.ac.jp)

## B: 学校生活について

Q 中学生の在籍数と男女比を教えてください。

A:	在籍 714名 クラス数 19	1年 228名 6クラス	2年 256名 7クラス	3年 230名 6クラス
男子	364名 (51%)	104名 (46%)	142名 (55%)	118名 (51%)
女子	350名 (49%)	124名 (54%)	114名 (45%)	112名 (49%)

(4月9日現在)

なお、中学・高校の在籍者総数は1,335名 男子699名(52%)・女子636名(48%)です。

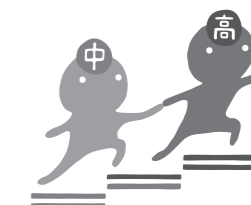
Q 毎年クラス替えを行っていますか？

A: はい。毎年全学年でクラス替えを行います。

Q 中学生の1日の日課(時程)はどうなっていますか？

A: 1日の標準日課は下記の通りです。

SHR	8:20~ 8:30	授業準備	13:00~13:10
1限	8:30~ 9:20	5限	13:10~14:00
2限	9:30~10:20	6限	14:10~15:00
3限	10:30~11:20	7限(月・火曜日のみ)	15:10~16:00
4限	11:30~12:20	SHR	15:00~15:10
昼休み	12:20~13:00	SHR(月・火曜日のみ)	16:00~16:10
		*清掃・生徒会委員会・部活動等	
			17:30 完全下校





Q 補習・講習はありますか？

A: 毎週月曜日の1限にWT(Weekly Test)を実施しています。これは英語と数学について、その前週に学んだ基礎的内容が理解できているかどうかを確認する目的で実施しています。テストはその日のうちに採点され、その結果が不十分であると判断された場合、土曜日の午後等に指名による「勉強会」(補習)を行います。中学の段階で「遅れ」を出さず、基礎・基本をしっかり身につけることを最大の目的としています。また、中3～高3で意欲のある生徒には、授業レベルを超えた内容の講習を、通年講習として実施しています。さらに、通年講習とは別に長期休業期間の補習・講習は、夏休み、冬休み、春休みの休業期間に実施します。

Q 校則は厳しいですか？

A: 厳しい校則はありません。本校の建学の精神に沿うように生徒自らが考え、飾り気がなく、清潔で端正な服装をすることが生徒には求められます。生活上で問題が見られた場合には、生徒の自覚が促されるように教師が適切な指導を行います。必要があれば、家庭と連絡を取り合って改善に努めます。

本校の生徒は常識的なルールを守り、自律心を持って学校生活を送っています。

Q 携帯電話・スマートフォンは持って来て良いですか？

A: 持って来ても構いません。校内では電源を切ってください。

Q 活躍している部活動はありますか？

A: 陸上競技部、なぎなた部、水球部、音楽部(オーケストラ)、技術家庭科部などが好成績を残しています。また、希望者がチームをつくり、テーマを設定し、Web作品を制作する全国中学高校Webコンテストに参加し、優秀な成績を収めています。

Q 給食はありますか？

A: 給食はありませんが、食堂があります。多くの生徒は自宅からお弁当を持って来ています。中学1年から食堂を利用することができます。食堂は座席が300席あり、日替わり定食をはじめ、カレー、ラーメン、うどん、などのメニューがあります。パスモ、スイカのICカードが使えます。

Q 保護者の転勤等による転出後の転入学はできますか？

A: 本校に在籍していた生徒には優遇措置があります。原則として中3の終了時までであれば転入学できます。

Q 校舎・設備について教えてください。

A: 校舎は耐震構造になっており、全教室とも冷暖房完備、窓ガラスには飛散防止フィルムが貼ってあります。生徒一人当たり44坪にも及ぶ17.4万㎡の敷地内に、1号館(普通教室)、2号館(体育館)、3号館(特別教室)、4号館(講義棟)、野球場、陸上グラウンド(人工芝、400mトラック)、サッカー・ラグビー場(人工芝)、50mプール、テニスコート(4面)などがあります。プール以外の屋外施設には夜間照明があります。

Q 万一の災害時の対応はどのようになっていますか？▶ P.5

A: 災害時、生徒が3日間生活できるだけの物資(防寒シート、飲料水、非常食、医薬品)を特設倉庫に備蓄しています。また、50mプールの水を飲料水に変える浄水装置も備えています。

Q 海外協定大学推薦制度について教えてください。

A: 海外大学への進学も視野に入れられるように、海外協定大学推薦制度(UPAA)を導入しています。UPAA事務局が、推薦手続き等を担ってくれるため、現地大学と直接やり取りすることなく、出願することができます。

海外協定大学を第一志望とする「専願型」、国内の大学を第一希望とする「併願型」のどちらかを選択することができます。取得した海外協定大学推薦合格は、国内受験が終わる3月末まで有効です。さらに、海外協定大学の受験に必要なものは、高校の成績、学校長の推薦、IELTSやTOEFL等のスコアであり、英文エッセイも不要のため、国内の大学を第一希望とする受験生の負担もありません。

海外協定大学は、世界ランキング上位大学を含むアメリカ10大学とイギリス8大学の計18大学あり、「専願」「併願」問わず、共通願書で最大4大学まで出願できます。

## C: 授業・カリキュラムについて

Q 授業・カリキュラムの特徴を教えてください。

A: 中学校ではすべての教科で時間数を減らすことなくカリキュラムを編成しており、週36時間授業があります。体育、芸術、技術・家庭もしっかり学んでもらいます。また、7限目などを工夫することで、国語・数学・英語は時間数を多く学ぶことができます。

Q 文理分けは、何年生からですか？また、文系と理系はどちらが多いですか？

A: 高等学校では、2年生から文系理系に分かれて学習することになります。文系では、国語、英語に加えて数学にも時間を多く配当し国公立大学への準備をしています。理系では、国公立を受験する生徒が多いことを意識したカリキュラムを作っています。

Q 分割授業やコース制はありますか？

A: 中学1年、2年では数学・英語でクラスを半分に分けた少人数授業を実施していきます。中学3年、高校1年では数学・英語で少人数習熟度授業を実施していきます。

Q 英語の授業について教えてください。

A: 中学では、「NEW TREASURE」(Z会出版)のテキストを中心に授業を進めています。検定済教科書とは違い、学習内容が削減されていないので、十分な学力をつけることができます。また、中1～高1では、総合的な学習(探究)の時間を使って英会話の授業を行っています。1クラスを2分割し、ネイティブの先生によって実施されています。また、高校1年では、週1回オンライン英会話の授業があり、海外の講師と1対1の会話を楽しんでいます。

## D: グローバル教育について

本校が目指すグローバル教育とは、単に英語の語学力を高めることを目標としているのではなく、他の教育活動との連携の中で、生徒一人一人の「世界の中で生きる力」を育てていくことを目標としています。本校卒業時にアメリカやイギリスなどの海外有名大学への進学をかなえることも具体的な目標の1つとなります。「世界の中で生きる力」を育むためには次の3つの柱が重要となります。

- ・英語を用いたコミュニケーション能力を高め、積極的に自分の考えていることを他者に伝える力を高める。
- ・「他者」との交流や様々な体験が出来る場を身近な地域から世界にまで、段階的に広げながら、多面的な見方や考え方が出来るような力を育む。
- ・主体的に行動する力や理論的に思考する手段を身につけ、様々な問題に対して疑問を持ち、自らが主体となって解決していく姿勢を身につける。

Q 英語のコミュニケーション能力を高めるためのプログラムにはどのようなものがありますか？

A: 各学年で標準の時間数を超えて英語の授業を実践しています。また、次のようなプログラムを導入し、英語力のさらなる向上を図っています。

- ・中学1年から高校1年までは、1クラスを2分割した、ネイティブの先生による少人数の英会話授業を実施しています。
- ・中学1年から中学3年まではBEC(Breakthrough English Camp)と呼ばれる3日間のネイティブの講師による講義やアクティビティを通して、少人数のチームに分かれて英語でプレゼンテーションを立案し実践するプログラムを実施しています。
- ・中学1年から高校2年までの5年間、英語の4技能検定としてGTECを採用し、生徒が定期的に自分のスコアを確認しながら、4技能を高めていくように工夫しています。
- ・eラーニング教材としてCollege Pathwayを導入し、生徒が自分のペースで主体的に英語の4技能を高める学習を自宅のタブレットPC等を用いて行える環境を整備しています。

### ・海外協定大学制度(UPAA)の導入

College Pathwayで身につけた英語力を活かして、世界ランキングにおいても上位にあるアメリカとイギリスの協定大学18大学に推薦で進学することが出来る制度です。

例年、複数の高校3年生がこの制度を利用して海外の大学に進学しています。

### 【協定大学例】

- ・アメリカ アラバマ大学バーミングハム校 南フロリダ大学など10大学
- ・イギリス マンチェスター大学 エクセター大学など8大学



Q 体験を重視した校外での活動としてはどのようなプログラムがありますか？

A: 生徒の発達段階等を考え、身近な地域から段階的に空間を広げるような工夫を加えながら、体験を重視した次のような校外学習を各学年で実施しています。

- ・中学1年・中学2年 地域調査(日帰り)
- ・中学2年 スキー教室
- ・中学3年 奈良・京都校外学習
- ・高校1年 沖縄校外学習

また、日本の文化や芸術に触れる活動として次のような鑑賞教室も実施しています。

- ・中学3年 歌舞伎鑑賞教室
- ・高校1年 能楽鑑賞教室
- ・高校2年 ミュージカル鑑賞教室

Q 在学中における海外の学校への留学制度を教えてください。

A: 高校生に対して短期と長期の留学制度があります。長期の留学制度には、帰国後、原級留置となり同じ学年に復学するものと、海外での学習成果を単位(最大36単位)として認めて進級できる2種類があります。

Q 海外研修にはどのようなプログラムがありますか？

A: 「世界の中で生きる力」を育むための3つの柱を念頭に、次の3つのプログラムを中学3年から高校2年までの希望者を対象として夏季休業期間中などに実施することを計画しています。2022年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大予防の観点から国内でのみ実施しますが、2023年度からは、海外での研修も開始する予定です。

・語学型プログラム

宿泊をとまなう合宿形式で、集中的に英語のコミュニケーションの能力を高めることを中心としたプログラムです。

・国際交流・文化体験型プログラム

ホームステイやオンラインでのプログラムを通して、海外での国際交流や文化体験などを体験してもらうことを重視したプログラムです。

・問題解決型プログラム

中学3年と高校1年で実施している「総合的な探究の時間」をさらに発展させ、様々な地域で生じている諸問題に対して、学内での事前学習から始まり、現地での実地踏査や海外の起業家を含めた様々な人々との交流を通して、問題解決の方法を考え、答えを導いていくことを中心としたプログラムです。

【2022年度のプログラム】

種類	方面	対象学年	プログラムの概要
語学型	河口湖	中学3年～高校1年	3泊4日の日程で、フィリピン人講師による朝から夕方までの連続した英会話を中心としたレッスンを集中的に受講する。
国際交流・文化体験型	学内実施	中学3年～高校1年	ネイティブの講師との対面、もしくはオンラインでの講義を通して、イギリスの文化や歴史について学ぶ。午後はオンラインを通してイギリスの家庭や大学生との交流を実施する。
問題解決型	京都方面	中学3年～高校2年	事前学習では海外の起業家とのやりとりを英語で行い、京都方面で6泊7日の日程で、現地販売会を企画立案から行い、実施する。事後には海外の起業家へプロダクト・プロモーション・ワークショップにおける解決策をプレゼンテーション形式で発表する。

Q Breakthrough English Camp(BEC)について具体的に教えてください。

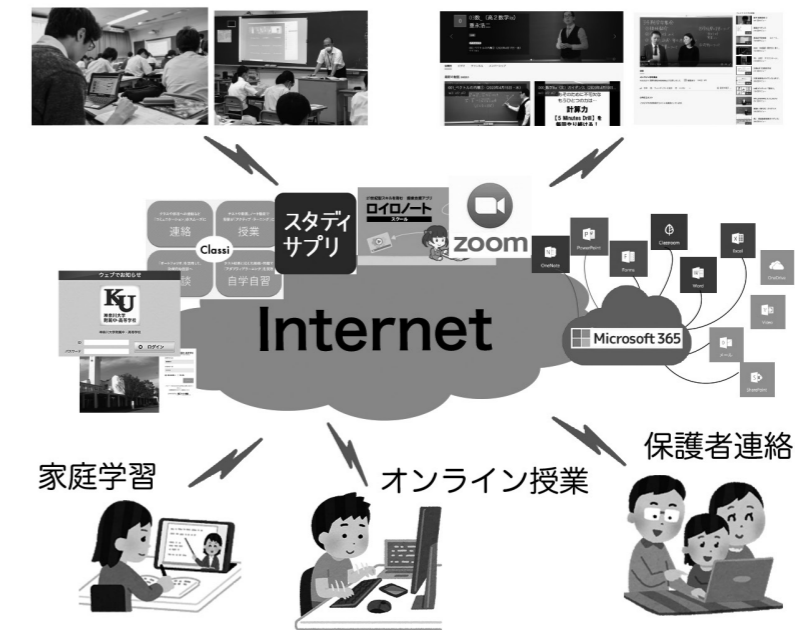
A: Breakthrough English Camp(BEC)は、中1～3を対象とした、英会話を学ぶための3日間の英語漬け研修です。ランダムに編成された10人程度のグループに分かれ、ネイティブの先生による授業を受けます。会話表現をベースとした授業はもちろのこと、世界の文化を理解し、ゲームやレクリエーションを通じ、楽しみながら感覚的に英語を学べるところがBECの特徴です。授業中だけでなく食事の時間もネイティブの先生と一緒に過ごすことで、より日常に近い場面での英会話を体験することができます。“ブレイクスルー”の名のとおり、勢いよく世界の扉をあけ放って飛び出していける生徒を輩出します。

E:ICT教育の取り組みについて

Q 神大附属のICT教育について教えてください。

A: 本校では教員も生徒も全員がタブレットPC(Microsoft Surface Go)とクラウドシステムを使って、毎日の授業、宿題、家庭学習を行なっています。この2年間のコロナ禍においても、朝のホームルーム、6～7時間の授業、個人面談など全てをオンラインで実施し、「学びを止めない」教育を実践しています。

対面授業 一人一台 PC 必携 コロナ禍のオンライン授業



Q なぜ、ICT教育を積極的に取り入れるのですか？

A: プログラミングやPCを使いこなす能力は、高度情報化社会の先にあるソサエティ5.0(Society 5.0)と言われる未来社会では必須とされています。生徒一人一人の学力を向上させ、未来社会をリードする人材を育成するためには、ICTスキルを身に付け、プログラミング、デジタルデザイン、プレゼンテーションなどクリエイティブな学びを展開する必要があるからです。



Q タブレットPC(Microsoft Surface Go)を購入する時期と価格を教えてください。

A: 中学1年生の2学期(9月)から使用するので、中学1年生の5月に学校で購入していただきます。価格は、教材用アプリや保守契約も含めて16～17万円程度です。

Q タブレットPC(Microsoft Surface Go)とはどんなものですか？

A: スマホのように画面をタッチして操作できるパソコンの事です。キーボードが着脱式で、タブレットとしても利用でき、キーボードを含めても約800gで持ち運びがしやすいのが特徴です。導入にあたっては様々な検討を行い、卒業後も鑑み、大学や企業で大幅なシェアを持つ、WindowsOSのタブレットPCを導入することとしました。

**Q** タブレットPC(Microsoft Surface Go)導入の目的を教えてください。

**A:** 一人一台がタブレットPCを持つことにより、講義中心の授業や家庭学習の形を変え、インターネットやクラウド学習システムを活用できます。ディスカッションやプレゼンテーション、プログラミング能力を高めるだけでなく、いつでも自分自身の学習状況や評価にアクセスでき視覚化できるので、自己管理能力を高め、自立させるのが目的です。

また、常にタブレットPCを使った学習を行う事により、ICT知識とスキルが向上するとともに2025年より大学入学共通テストの新科目「情報」にもスムーズに対応できます。



**Q** タブレットPCをどのように使うのですか？

**A:** 毎日のホームルームや授業で使います。学習管理システムClassiを中心に、連絡事項、授業用教材配信、課題提出などを行います。その他教育用アプリとして、ロイロノートやOffice 365、Adobe Creative Cloud、英語学習College Pathwayやデジタル教科書を使い効果的な学習を展開します。技術や情報の授業では、タイピング、Word・Excel・PowerPoint、LEGOセンサーロボット制御、映像編集、プログラミング言語(Python)でアプリ制作まで行います。また、校外学習などの学校行事や家庭学習課題でも利用します。

コロナ対応でのオンライン授業では、朝のホームルーム、授業をZOOMやYouTube LIVEで配信しますので、タブレットPCで視聴しながら学習を進めます。

**Q** サポート体制及びセキュリティについて

**A:** 校内のICTサポートセンターで、機器の不具合や操作方法等の質問について対応します。ICTサポートセンターでは予備機を備え、生徒の機器に不具合があった場合、貸し出しを行い、授業に支障がないようにいたします。また全生徒が同機種種のタブレットPCにすることにより、システムの一括管理を行いセキュリティの確保を行います。

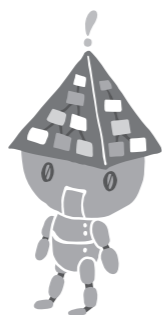
## F:進路について

**Q** 進路指導の特徴を教えてください。

**A:** 生徒の興味・関心・能力を最大限に引き出し、「生き方探し」のサポートをしています。卒業生の特別講師によるレクチャー(キャリアラボ)、中3「神奈川大学見学会」や、高1「学部学科説明会」、高1・2「OB・OG懇談会」、高2「一日神奈川大学生」を実施しています。職業観を育む指導から大学卒業後の就職までを見据えた、適切な指導が行われています。

**Q** 卒業後の進路は神奈川大学への進学が中心となりますか？

**A:** いいえ、卒業生の9割以上の生徒が他の大学等への進路をとっています。神奈川大学への推薦には、I期推薦とII期推薦があり、I期推薦では、神奈川大学への進学を確保したうえで他の大学を受験することもできます。昨年度は83名の推薦枠があり、I期推薦で6名が神奈川大学へ進学しました。



**Q** 現役進学率は高いのですか？

**A:** 2022年度大学入試では、下の表の通り89.5%の生徒が現役で進学しました。

卒業生数	4年制大学	短期大学	大学校・専門学校	海外の大学	その他
219名	195名	0名	0名	1名	23名*

\* 合格したが進学先未決定の者を含んでいます。

上位大学への進学者は下表の通りで、卒業生の65.3%が国公立や早慶上理、GMARCH(学習院・明治・青学・立教・中央・法政)および同レベルの大学\*に進学しています。

国公立	早慶上理	GMARCHレベル*
52名	40名	51名

\* ICU、関西、関西学院、同志社、立命館

**Q** なぜ国公立大学の合格者の割合が増えたのですか？

**A:** 本校では生徒の希望に合わせた進路指導を行っています。生徒や保護者の方からの国公立進学を希望する声に応え、多様な進路に対応できるようなカリキュラム編成を行ってきたことが功を奏していると考えられます。取り組みの一例として、

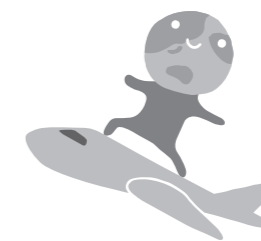
- ①文系国公立・難関私立大学に対応できるよう、数学IIを必修化
- ②理系大学入学共通テスト対策として、文系科目を必ず履修できるようカリキュラムを編成

といったことが挙げられます。加えて、中1から段階的な進路指導を行うことで、自分の進路を見定め、早くから国公立を目指し準備することができる生徒が増えたこと、また、「受験」とらわれず、全ての教科をバランス良く、興味を持って学ぶ生徒が多く、その結果、国数英だけでなく、社会や理科といった国公立受験に必要な科目の基礎が定着していることも一因です。更に、ここ数年の国公立大学に進学した先輩たちの姿が、自らも国公立大学を目指せるという可能性や希望を在校生に与え、早くから意欲的に学習に取り組む生徒が増えて、実績に繋がっているとも考えられます。

**Q** 神奈川大学以外にも指定校推薦はありますか？

**A:** はい、毎年各大学から指定校推薦の依頼が来ています。2022年度入試では下記の大学から指定校推薦枠をいただきました。

慶應義塾大学(理工)、早稲田大学(文化構想・創造理工・基幹理工・先進理工)、東京理科大学(先進工・理・理工)、明治大学(政治経済)、青山学院大学(理工)、中央大学(法・経済・総合政策・商・理工)、立教大学(現代心理・文)、法政大学(社会・グローバル教養)、学習院大学(経済・文・理)、成城大学(文芸)、明治学院大学(文・経済・社会・法・国際・心理)、日本大学(法)、東邦大学(理)、聖心女子大学、昭和薬科大学(薬)、東京薬科大学(薬・生命科)、明治薬科大学(薬)、北里大学(医・薬)、聖マリアンナ医科大学(医)、東京農業大学(生物産業)、日本女子大学(家政)等で、80名以上の推薦枠を確保しています。





●中学校

	1年	2年	3年
	1	国語(5)	国語(6)
2			
3			
4			
5	数学(6)	数学(6)	数学(6)
6			
7			
8			
9			
10			
11	英語(5)	英語(5)	英語(6)
12			
13			
14			
15	社会(4)	社会(4)	社会(4)
16			
17			
18			
19	理科(4)	理科(4)	理科(4)
20			
21			
22			
23	音楽(1.5) 美術(1.5)	音楽(1) 美術(1)	音楽(1) 美術(1)
24			
25	保健体育(3)	保健体育(3)	保健体育(3)
26			
27	技術・家庭(2)	技術・家庭(2)	技術・家庭(1)
28			
29	WT(1)	WT(1)	道徳(1)
30			
31	道徳(1)	道徳(1)	学級活動(1)
32			
33	学級活動(1)	学級活動(1)	英会話(総合)(1)
34			
35	総合学習 (英会話を含む)	総合学習 (英会話を含む)	探究の時間(1)
36			
37			

※総合学習の一部は、期間を定めて集中的に実施しています。  
※WT：確認テスト Weekly Tests

●高等学校

	1年	2年		3年	
		文系	理系	文系	理系
1	現代の国語(3)	論理国語(3)	英語 コミュニケーション Ⅲ(4)	英語 コミュニケーション Ⅲ(4)	英語 コミュニケーション Ⅲ(4)
2					
3					
4					
5	言語文化(3)	数学Ⅱ 文(4)	数学Ⅱ 理(4)	A	論理・表現Ⅲ(2) (習熟度別授業)
6					
7	歴史総合(2)	数学B (2)	数学B (3)	A	体育(3)
8					
9	公共(2)	B	地理 総合(3)	B	文学 国語(4)
10					
11	数学I(4)	C	古典 探究(4)	B	数学Ⅲ (5) / 数学 総合(3)
12					
13					
14					
15	情報I(2)	D	日本史 探究(5)	D	数学C (2)
16					
17	科学と 人間生活(2)	E	世界史 探究(5)	E	化学 特講I (2)
18					
19	化学基礎(2)	E	物理(3) 生物(3)	C	日本史 特講(4)
20					
21	体育(2)	E	古典 研究I (2)	C	世界史 特講(4)
22					
23	保健(1)	E	地学 基礎(2)	D	物理特講 (4)
24					
25	音楽I/美術I/ 工芸I(2)	E	生物基礎 (2)	D	生物特講 (4)
26					
27	英語 コミュニケーション Ⅱ(5)	E	古典 研究Ⅱ α/β (2)	D	現代文 研究α/β (2)
28					
29	英語 コミュニケーション Ⅰ(4)	E	公共特講 (2)	D	古典研究 Ⅱα/β (2)
30					
31	論理・表現Ⅰ(2)	E	自由選 択(2)	D	α/β (2)
32					
33	論理・表現Ⅱ(2)	E	理科基 礎(2)	D	α/β (2)
34					
35	家庭基礎(2)	E	共通	D	LHR(1)
36					
37	LHR(1)	E	探究(進路学習)(1)(集中運用)	D	α/β (2)
38					
38					

※太文字は、学校設定科目を表しています。

部活動名	中学			高校			合計	合宿	主な活動場所
	男子	女子	合計	男子	女子	合計			
陸上競技部	31	18	49	24	18	42	91		陸上グラウンド
野球部	31	0	31	30	4	34	65	○	野球場
卓球部	39	16	55	19	15	34	89	○ (高校のみ)	第2体育館
硬式庭球部	42	24	66	36	25	61	127		テニスコート・屋外集会場
バレーボール部	24	37	61	23	15	38	99	○	第1体育館
バスケットボール部	40	34	74	19	13	32	106	○	第1体育館・屋外集会場
剣道部	10	14	24	6	7	13	37	○	剣道場
水球部	15	9	24	8	9	17	41	○	50mプール
サッカー部	24	0	24	17	0	17	41	○	陸上グラウンド・サッカー・ラグビー場
なぎなた部	12	32	44	4	18	22	66		第3体育館
歴史研究部	4	6	10	4	3	7	17	○	国社研修室・コンピュータ教室
音楽部	16	63	79	10	58	68	147	○	リハーサル室1・2・第3体育館
美術部	5	12	17	1	9	10	27		第2美術室
漫画研究部	1	8	9	0	7	7	16		第1美術室
理科部	12	19	31	26	14	40	71	○	理科実験室
囲碁・将棋部	12	0	12	10	0	10	22	○	和室
演劇部	2	12	14	2	21	23	37	○	AVスタジオ
技術家庭科部	24	7	31	17	2	19	50		技術教室・被服室・Macルーム
入部生徒数	344	311	655	256	238	494	1149		
在籍生徒数	371	333	704	339	290	629	1333		
入部率	93%	93%	93%	76%	82%	79%	86%		

数字は生徒数 2022年2月21日現在

中学生は17時30分、高校生は18時が完全下校になります。

活動は原則として週4日以内とし、週に2日の活動しない日を設けています。

夏季や冬季の休業中の補習・講習期間の活動は、午前中に補習・講習を行い、部活動は午後に行います。





# 資料編 各教科6年間の歩み

		成長期 基礎力の完成	
		中1	中2
国語		<ul style="list-style-type: none"> <li>●現代文：小説・評論・詩歌で読解力を培い、報告や意見・感想の文章化で表現力を養う</li> <li>●古文：有名古典冒頭の暗誦、説話などの読解を通して古文に慣れ親しむ</li> <li>●漢文：漢文訓読の基礎を学び、故事成語を読んで漢文に親しむ</li> <li>●漢字検定3級の取得をめざす</li> <li>●探究学習：シンキングツール等を活用し、課題の設定や情報収集の基本的なスキルを身に付ける</li> </ul>	
	数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>●数学の学習に必要な基礎学力の定着を図る</li> <li>●中学3年間の学習内容を終える</li> </ul>	
英語		<ul style="list-style-type: none"> <li>●音読を中心に英語特有の文の構成に慣れ、英文法の基礎力を養う</li> <li>●英単語コンテストを通して、最終的に高校入試レベルの語い数まで増やす</li> <li>●e-learningでは自ら定めた目標に対し、学習計画を立案し、オンラインプログラムを活用しながら自己の英語運用能力の伸長を図る</li> </ul>	
社会		<ul style="list-style-type: none"> <li>●高校の学習内容を一部取り入れながら、地理的分野と歴史的分野を並行して2年間学習する</li> <li>●解説文や統計・地図・絵画・史料など各種資料を読み取る力を育成し、社会科学習の基礎的な理解を深める</li> </ul>	
理科		<ul style="list-style-type: none"> <li>●1分野(物理・化学)と2分野(生物・地学)を並行して学び、中学3年間の学習内容を終える</li> <li>●実験や観察を通して、理科の基本的な「学び方」を体験的に身につける</li> </ul>	
芸術	音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リコーダー演奏、発声法、楽典など基礎的な音楽知識の習得を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リコーダー、ボディーパーカッション、混声三部合唱などを通して演奏技術の向上を図る</li> </ul>
	美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>●絵画・彫刻の基礎的な知識、表現や技術を学習する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●寄木細工やスクラッチタイルや平面構成を通してデザイン分野の理解を深める。</li> </ul>
保健体育		<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎体力と表現能力を高めるために様々な身体活動を行う。体作り運動・水泳(クロール)・マット運動・ダンス・持久走・バスケットボールの実技と保健を学習する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎体力と表現能力を高めるために様々な身体活動を行う。体作り運動・水泳(平泳ぎ)・バレーボール・持久走・フットサル・剣道の実技と保健を学習する。</li> </ul>
技術家庭		<ul style="list-style-type: none"> <li>●技術分野では製図法やラジオの製作、家庭分野では調理の基礎と被服の基礎を学習する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●技術分野では木材を使った本棚の製作、家庭分野では調理実習と被服実習でミシンの基礎技能を学ぶ。</li> </ul>
情報		<ul style="list-style-type: none"> <li>●1人1台タブレットを購入し、授業や宿題で活用する</li> <li>●生徒用アカウントでログインし、学校や家庭のコンピュータネットワークについて学習する。</li> <li>●情報モラルを身に付け、インターネットやSNSを正しく活用する能力を育む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Office365、クラッシー、ロイロノートを活用し、ICTリテラシーを身につける。</li> <li>●プログラミング教育の実施</li> <li>●タッチタイピングの習得</li> </ul>
学習(探究)		<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域調査</li> <li>●国際理解：英会話・Breakthrough English Camp</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域調査</li> <li>●国際理解：英会話・Breakthrough English Camp</li> </ul>

		発展期 応用力の育成	
		中3	高1
国語		<ul style="list-style-type: none"> <li>●現代文：小説・評論・詩歌で読解力を高め、調査報告を通して言語表現の充実を図る</li> <li>●古文：徒然草・今昔物語集・奥の細道・和歌などを読解し、文語文法を理解する</li> <li>●漢文：様々な作品の読解を通して、漢文の構造・句法を理解する</li> <li>●漢字検定2級の取得をめざす</li> <li>●探究学習：自分に必要な情報を探し、集めた情報を整理・分析する</li> </ul>	
	数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高校数学の基礎の定着と応用力の育成を図る</li> <li>●中学3年から高校の内容(数学I・数学A・数学II・数学B)を学習する</li> </ul>	
英語		<ul style="list-style-type: none"> <li>●複雑な構文の文章に慣れるとともに、パラグラフの展開を意識した読解力をつける</li> <li>●高校英文法の基礎力を完成し、平易な大学入試問題に慣れる</li> <li>●e-learningでは自ら定めた目標に対し、学習計画を立案し、オンラインプログラムを活用しながら自己の英語運用能力の伸長を図る</li> </ul>	
社会		<ul style="list-style-type: none"> <li>●公民的分野(政治や経済のしくみ、国際政治や国際経済と日本)について高校の学習内容も取り入れながら学習する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中学での学習を土台にして歴史総合と公共を学習し、高校における地理歴史・公民学習の基礎を形成する</li> </ul>
理科		<ul style="list-style-type: none"> <li>●中3から高校の内容(物理・化学・生物)を学習する</li> <li>●実験や観察により科学的思考力を高め、大学受験に対する基礎を固める</li> </ul>	
芸術	音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>●混声四部合唱、三線の演奏を通して、音楽的表現力の向上を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●美術・工芸・音楽の3つの領域に分かれて履修し、それぞれの専門分野に対して理解をより深めていく</li> </ul>
	美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>●名画のコラージュ模写の制作を通して、色・形などに対する表現力を高める。</li> </ul>	
保健体育		<ul style="list-style-type: none"> <li>●体作り運動・硬式テニス・水泳(背泳ぎ)・陸上(走跳投)・持久走・ソフトボール・剣道の実技と保健を学習する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●体作り運動・バレーボール・サッカー・水泳(バタフライ)・持久走・マット運動の実技と保健を学習する</li> </ul>
技術家庭		<ul style="list-style-type: none"> <li>●タブレットPCを使った学習を中心に、学習履歴を作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習履歴の編集</li> </ul>
情報		<ul style="list-style-type: none"> <li>●レゴスバイクプライムで宇宙エレベーターロボットを製作し、プログラミングする。</li> <li>●画像処理、音声編集、プレゼンテーションデータなどデジタルコンテンツの制作</li> <li>●インターネットのしくみやセキュリティなど情報学の知識やスキルの習得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●AI開発を通じたデータ分析スキルの習得</li> <li>●Adobe Creative cloudを使って情報デザイン</li> <li>●ムービーの制作、DTMで作曲、python、JavaScriptでプログラミング</li> </ul>
学習(探究)		<ul style="list-style-type: none"> <li>●国際理解：英会話・Breakthrough English Camp</li> <li>●探究の時間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国際理解：英会話</li> <li>●探究の時間</li> </ul>

		飛躍期 進路に応じた実践力の育成	
		高2	高3
国語		<ul style="list-style-type: none"> <li>●現代文：小説・評論・詩歌などで読解力の充実を図る</li> <li>●古典：様々な作品(古文：枕草子・源氏物語・大鏡、日記・評論など/漢文：史記など)の読解を通して実力を養い、文法・単語・文学史・句法についての総まとめを行う</li> <li>●大学入試に向けた問題演習を通して総合的な実力を養う</li> </ul>	
	数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文理に分かれて全員が数学を学習する</li> <li>●進路に応じて必要な科目を選択履修する</li> <li>●文系：数学II・数学Bを終了後、大学入学共通テスト対応の演習を行う</li> <li>●理系：数学II・数学Bを終了後、数学IIIを学習する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路に応じて必要な科目を選択履修する</li> <li>●数学的思考力や表現力を高め、大学入試に適應できる力を身につける</li> </ul>
英語		<ul style="list-style-type: none"> <li>●精読を通して文構造を理解し、速読を通して全体の流れを追う力を養う</li> <li>●外国人講師とのペアティーチングによる英作文の授業の中で自己表現力を身につける</li> <li>●英語特講では長文読解の問題演習を行い、スピーディに読み問題を解く力を伸ばす</li> </ul>	
社会		<ul style="list-style-type: none"> <li>●全員が地理総合を学習する</li> <li>●文系は、自身の学びや進路に応じて、世界史探究、日本史探究から1科目履修する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自身の学びや進路に応じて、地理、世界史、日本史、政治・経済、倫理の中から選択履修する</li> <li>●大学入試に適應できる力を養成する</li> </ul>
理科		<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路の希望に応じて、物理・化学・生物・地学の中から選択履修する</li> <li>●大学入試に適應できる力を養成する</li> </ul>	
芸術		<ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習という観点から授業展開を行い、同時に「将来への実現」という観点からも、より高度で専門的な授業展開を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大学受験に沿って個別指導による授業展開を実施する</li> </ul>
保健体育		<ul style="list-style-type: none"> <li>●体作り運動・バスケットボール・水泳(個人メドレー)・硬式テニス・持久走・陸上(投てき種目)の実技と保健を学習する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●5年間の総復習を通して生涯スポーツについて考察し実技を行う</li> </ul>
技術家庭		<ul style="list-style-type: none"> <li>●衣・食・住・消費生活分野で、持続可能な社会をつくるために、身近な生活問題と社会的な課題を学ぶ。また、専門家を講師として招いて、より実践的なスキルや知識を育む。</li> </ul>	
情報			<ul style="list-style-type: none"> <li>●大学入学共通テスト対策の演習</li> </ul>
学習(探究)			

## 数学・英語の主な使用教材

学年	教科書	主な使用教材	
		出版社	発行
中1	システム数学1 代数編 3rd Edition	啓林館	
	システム数学1 幾何・統計編 3rd Edition	啓林館	
	システム数学1 代数編 問題集 3rd Edition	啓林館	
	システム数学1 幾何・統計編 問題集 3rd Edition	啓林館	
	システム数学2 代数編 3rd Edition	啓林館	
	システム数学2 幾何・統計編 3rd Edition	啓林館	
中2	システム数学2 代数編 問題集 3rd Edition	啓林館	
	システム数学2 幾何・統計編 問題集 3rd Edition	啓林館	
	新課程 教科書傍用 4STEP 数学I+A	数研出版	
中3	数学I	数研出版	
	数学A	数研出版	
	数学II	数研出版	
高1	改訂版 数学B	数研出版	
	新課程 教科書傍用 4STEP 数学II		
	改訂版 教科書傍用 4STEP 数学B	数研出版	
高2	改訂版 数学III	数研出版	
	改訂版 教科書傍用 4STEP 数学III	数研出版	
	進研WINSTEP 数学I・A 改訂版	ラーズ	
高3	進研WINSTEP 数学II・B 改訂版	ラーズ	
	四訂版 メジアン数学演習 I・II・A・B 受験編	数研出版	
	四訂版 オリジナル・スタンダード 数学演習III 受験版	数研出版	
		攻略!共通テストPick Up 128 数学I+A, II+B	東京書籍
		四訂版 メジアン数学演習 I・II・A・B 受験編	数研出版

学年	教科書	主な使用教材	
		出版社	発行
中1	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage1 THIRD EDITION	Z会出版	
	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage1 文法問題集 THIRD EDITION	Z会出版	
	Active Phonics 聞きとれ64 1年	正進社	
中2	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage2 Second Edition	Z会出版	
	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage2 文法問題集 Second Edition	Z会出版	
	Ver.3 Listening Trial stage1 + 音声CD	文英堂	
中3	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage2 Second Edition Digital Textbook	Z会出版	
	Sirius 21 英語vol.3 発展編	育伸社	
	GTEC英語4技能対策講座 Vol.1 Basicレベル	ベネッセコーポレーション	
高1	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage3	Z会出版	
	Listening Trial stage1.5	文英堂	
	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage3 Second Edition Digital Textbook	Z会出版	
	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage4 Second Edition	Z会出版	
高2	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage4 Second Edition CDs for Students	Z会出版	
	Vintage 英文法・語法	いっずな書店	
	総合英語Evergreen English Grammar 47 LESSONS	いっずな書店	
	総合英語Evergreen English Grammar 47 LESSONS Workbook	いっずな書店	
高3	オンライン英会話	ウェブリオ	
	英語長文Concerto No.2 いっずなボイス版	いっずな書店	
	必携英語LEAP	数研出版	
	必携英語表現集	数研出版	
	共通テストリスニング分野別10 min.	エミル出版	
	英文基礎10題ドリル	駿台文庫	
英語	NEO現代を読む Standard	いっずな書店	
	大学入試完全攻略講座④英語長文演習【入門編】	桐原書店	
	New Edition NEO現代を探る Advanced	いっずな書店	
	SKYWARD COSMOS Course 最新入試英語長文20選	桐原書店	
	パワーマックス英語リスニング×8	Z会出版	
	共通テスト英語40分プレノート	数研出版	
	全演習 発展英文法・語法問題1100	いっずな書店	
	2022年受験用 大学入学共通テスト(英語リスニング)オリジナル問題集 L30	いっずな書店	
LINK UP 英語総合問題集 実践編	数研出版		
Write it Right 英作文	数研出版		
大学入試完全攻略講座② 英語長文問題演習【完成編】	桐原書店		
Make Progress in English Reading	数研出版		

資料編 大学入試の合格状況

Table with 7 columns: 2022年度 (合格, 現役), 2021年度卒 (合格, 現役), 2020年度卒 (合格, 現役). Rows include 国公立大学, 私立大学, 海外の大学, 合計.

Table with 7 columns: 2022年度入試 (合格, 現役), 2021年度入試 (合格, 現役), 2020年度入試 (合格, 現役). Rows include 国・公立大学医学部医学科, 山形大学, 群馬大学, 北里大学, etc.

Table with 7 columns: 2022年度入試 (合格, 現役), 2021年度入試 (合格, 現役), 2020年度入試 (合格, 現役). Rows include 国公立大学 (東京大学, 京都大学, etc.), 海外大学 (The University Of Manchester, Newcastle University, etc.).

Table with 7 columns: 2022年度入試 (合格, 現役), 2021年度入試 (合格, 現役), 2020年度入試 (合格, 現役). Rows include 海外大学 (The University Of Manchester, Newcastle University, etc.).

Table with 7 columns: 2022年度入試 (合格, 現役), 2021年度入試 (合格, 現役), 2020年度入試 (合格, 現役). Rows include 私立大学 (神奈川大学, 早稲田大学, 慶應義塾大学, etc.), 国公立大学 (東京大学, 京都大学, etc.), 海外の大学 (The University Of Manchester, Newcastle University, etc.).

Table with 7 columns: 2022年度入試 (合格, 現役), 2021年度入試 (合格, 現役), 2020年度入試 (合格, 現役). Rows include 大学校 (水産大学校, その他の大学校).

資料編 現役生の進路状況

Table with 4 columns: 卒業者数, 2022年度 (32期生, 219名), 2021年度 (31期生, 204名), 2020年度 (30期生, 218名).

Table with 4 columns: 国・公立大学医学部医学科, 2022年度 (32期生), 2021年度 (31期生), 2020年度 (30期生). Rows include 群馬大学, 北里大学, 産業医科大学, 小計.

Table with 4 columns: 国公立大学, 2022年度 (32期生), 2021年度 (31期生), 2020年度 (30期生). Rows include 東京大学, 京都大学, 一橋大学, etc., 進学率 (%) 23.7.

Table with 4 columns: 大学校, 2022年度 (32期生), 2021年度 (31期生), 2020年度 (30期生). Rows include 防衛大学校, 神奈川県立平塚看護大学校, 大学校合計.

Table with 4 columns: 海外の大学, 2022年度 (32期生), 2021年度 (31期生), 2020年度 (30期生). Rows include The University Of Alabama Birmingham, Queen's University Belfast, etc., 海外の大学合計.

Table with 4 columns: 専門学校, 2022年度 (32期生), 2021年度 (31期生), 2020年度 (30期生). Rows include 専門学校合計.

Table with 4 columns: 現役進学者数, 2022年度 (32期生), 2021年度 (31期生), 2020年度 (30期生). Rows include 現役進学率 (%) 89.5.

Table with 4 columns: 2022年度 (32期生), 2021年度 (31期生), 2020年度 (30期生). Rows include 神奈川大学, 早稲田大学, 慶應義塾大学, etc., 私立大学進学率 (%) 66.5.



# 資料編 2022年度学校暦

※事情により変更する場合があります。

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
日曜	項目	日曜	項目	日曜	項目	日曜	項目	日曜	項目	日曜	項目
1 金	春季休業	1 水	(徳主権説明会①) 高3:総合共通テスト模試②	1 金	1 月	1 金	1 月	1 月	1 木	1 木	始業式 中1~中3:学力推移調査
2 土		2 木	高3:総合共通テスト模試②	2 土	高3:進研共通テスト模試(放課後)	2 土	高3:進研共通テスト模試(放課後)	2 土	2 火	2 金	夏季休業
3 日		3 火	憲法記念日	3 日	高3:進研共通テスト模試(放課後)	3 日	高3:進研共通テスト模試(放課後)	3 日	3 水	3 土	
4 月		4 水	みどりの日	4 土	(学校説明会③)	4 月	(学校説明会③)	4 月	4 木	4 日	
5 火		5 木	こどもの日	5 日	教育実習開始 高2:選択科目説明会	5 火	期末考査	5 金	5 金	5 月	英語コンテスト③ 高3:共通テスト出願説明会(6限)
6 水		6 金	海外・国内研修説明会(中3/高1/高2)	6 月	高3:舞台全国模試(希望者)	6 水	期末考査	6 土	6 土	6 火	
7 木		7 土	教育実習生オリエンテーション(学校説明会①)	7 火	高3:歌舞伎鑑賞教室	7 木	期末考査	7 日	7 日	7 水	(徳主権説明会⑥)
8 金	始業式・着任式/入学式準備	8 日	創立記念日	8 水	(徳主権説明会②)	8 金	期末考査	8 月	8 月	8 木	高3:ハルピカ総合共通テスト模試
9 土	入学式(高校生自宅学習)	9 月	交通安全大会	9 土	(生徒自宅学習・部活動停止)	9 土	(生徒自宅学習・部活動停止)	9 火	9 火	9 火	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)
10 日		10 火	健康診断(終日)	10 金	高3:進研共通テスト模試(希望者)	10 日	試験返却日・午後11時アップロードPC配布	10 水	10 水	10 土	計算コンテスト②
11 月		11 水	健康診断(終日)	11 土	高3:舞台全国模試(希望者)	11 月	(生徒自宅学習・部活動停止)	11 木	11 木	11 日	山の日
12 火		12 木	創立記念日	12 日	高3:舞台全国模試(希望者)	12 火	試験返却日・午後11時アップロードPC配布	12 金	12 金	12 月	
13 水		13 金	高3:交通安全大会	13 月	高3:歌舞伎鑑賞教室	13 水	面談 自宅学習	13 土	13 土	13 火	
14 木		14 土	教育実習生オリエンテーション(学校説明会①)	14 火	高3:歌舞伎鑑賞教室	14 木	面談 自宅学習	14 日	14 日	14 水	くすのき祭準備
15 金		15 日	創立記念日	15 水	(徳主権説明会③)	15 金		15 月	15 月	15 木	くすのき祭準備
16 土		16 月	交通安全大会	16 木	高3:ニューズリアル鑑賞教室	16 土		16 火	16 火	16 金	くすのき祭準備
17 日		17 火	健康診断(終日)	17 土	高3:ニューズリアル鑑賞教室	17 日	高3:ニューズリアル鑑賞教室	17 木	17 木	17 土	くすのき祭
18 月		18 水	健康診断(終日)	18 日	高3:ニューズリアル鑑賞教室	18 土	高3:ニューズリアル鑑賞教室	18 金	18 金	18 日	くすのき祭
19 火		19 木	交通安全大会	19 月	高3:ニューズリアル鑑賞教室	19 火	高3:ニューズリアル鑑賞教室	19 土	19 土	19 金	くすのき祭
20 水		20 金	健康診断(終日)	20 火	高3:ニューズリアル鑑賞教室	20 水	高3:ニューズリアル鑑賞教室	20 日	20 日	20 火	試験返却日(9/18)
21 木		21 土	健康診断(終日)	21 火	高3:ニューズリアル鑑賞教室	21 水	高3:ニューズリアル鑑賞教室	21 月	21 月	21 水	終業日(9/19)
22 金		22 日	健康診断(終日)	22 水	高3:ニューズリアル鑑賞教室	22 木	高3:ニューズリアル鑑賞教室	22 火	22 火	22 木	
23 土		23 月	健康診断(終日)	23 木	高3:ニューズリアル鑑賞教室	23 土	高3:ニューズリアル鑑賞教室	23 日	23 日	23 金	秋分の日
24 日		24 火	健康診断(終日)	24 土	高3:ニューズリアル鑑賞教室	24 日	高3:ニューズリアル鑑賞教室	24 月	24 月	24 土	
25 月		25 水	健康診断(終日)	25 日	高3:ニューズリアル鑑賞教室	25 月	高3:ニューズリアル鑑賞教室	25 火	25 火	25 日	
26 火		26 木	健康診断(終日)	26 火	高3:ニューズリアル鑑賞教室	26 水	高3:ニューズリアル鑑賞教室	26 土	26 土	26 月	
27 水		27 金	健康診断(終日)	27 木	高3:ニューズリアル鑑賞教室	27 金	高3:ニューズリアル鑑賞教室	27 日	27 日	27 火	
28 木		28 土	健康診断(終日)	28 火	高3:ニューズリアル鑑賞教室	28 水	高3:ニューズリアル鑑賞教室	28 月	28 月	28 水	
29 金	昭和の日	29 日	健康診断(終日)	29 水	高3:ニューズリアル鑑賞教室	29 木	高3:ニューズリアル鑑賞教室	29 火	29 火	29 木	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)
30 土	高3:河合塾共通テスト模試①	30 月	健康診断(終日)	30 木	高3:ニューズリアル鑑賞教室	30 土	高3:ニューズリアル鑑賞教室	30 日	30 日	30 金	高3:ハルピカ総合共通テスト模試
31 日		31 火	健康診断(終日)	31 土	高3:ニューズリアル鑑賞教室	31 日	高3:ニューズリアル鑑賞教室	31 月	31 月	31 水	
16 (土)	中2/高3:保護者会	11 (土)	保護者対象進路説明会(高校)	11 (土)	保護者対象進路説明会(高校)	2 (土)	中1/高3:保護者会	8 (上)	探究型国内研修 (中3/高1/高2:希望者 6泊7日を予定)	6 (火)	高3:神大(第1期)・指定校等推薦入校校内出願締切
23 (土)	中3/高2:保護者会	18 (土)	中2/高2:保護者会	18 (土)	中2/高2:保護者会	18 (土)	中2/高2:保護者会	26 (月)	高3:共通テスト模試(希望者)	26 (月)	高3:共通テスト模試(希望者)
30 (土)	中1/高1:保護者会	・UPAA認定校 ・UPAA認定校 ・UPAA認定校	・UPAA認定校 ・UPAA認定校 ・UPAA認定校	・UPAA認定校 ・UPAA認定校 ・UPAA認定校	・UPAA認定校 ・UPAA認定校 ・UPAA認定校	・UPAA認定校 ・UPAA認定校 ・UPAA認定校	・UPAA認定校 ・UPAA認定校 ・UPAA認定校	1 (学期)授業日数: 84日 中以外: 85日 2 (学期)授業日数: 86日	1 (学期)授業日数: 84日 中以外: 85日 2 (学期)授業日数: 86日	1 (学期)授業日数: 84日 中以外: 85日 2 (学期)授業日数: 86日	1 (学期)授業日数: 84日 中以外: 85日 2 (学期)授業日数: 86日

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
日曜	項目	日曜	項目	日曜	項目	日曜	項目	日曜	項目	日曜	項目
1 土		1 火	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	1 水	期末考査	1 日	元旦 終業日(元日)	1 水	中学入試第1回・発表	1 水	卒業式(中学生自宅学習)
2 日		2 水	体育大会準備日(午後)	2 木	期末考査	2 日	終業日(元日)	2 木	中学入試第2回・発表	2 木	卒業式(中学生自宅学習)
3 月		3 木	文化の日	3 金	期末考査	3 火	終業日(元日)	3 金	中学入試第3回・発表	3 金	
4 火		4 金	体育大会	4 土	期末考査	4 水	終業日(元日)	4 土	中学入試第3回・発表	4 土	
5 水		5 土	体育大会予備日①	5 月	期末考査	5 木	終業日(元日)	5 日	中学入試第3回・発表	5 日	
6 木		6 日	体育大会予備日②	6 火	(生徒自宅学習・部活動停止)	6 金	始業式 高3:共通テストプレテスト	6 月	中1/中2:GTEC(6・7限)	6 月	
7 金		7 月	体育大会	7 水	(生徒自宅学習・部活動停止)	7 土	始業式 高3:共通テストプレテスト	7 火	高2:全統記述模試(放課後)	7 火	
8 土		8 火	ICT公開授業(2~3限)	8 木	試験返却日 (部活動停止)	8 日	終業日(元日)	8 水	高2:全統記述模試(放課後)	8 水	期末考査
9 日		9 水	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	9 金	(生徒自宅学習・部活動停止)	9 月	成人の日	9 木	高2:全統記述模試(放課後)	9 木	期末考査
10 月		10 木	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	10 土	(生徒自宅学習・部活動停止)	10 火	成人の日	10 金	高2:全統記述模試(放課後)	10 金	期末考査
11 火		11 金	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	11 日	(生徒自宅学習・部活動停止)	11 水	成人の日	11 土	高2:全統記述模試(放課後)	11 土	期末考査
12 水		12 土	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	12 月	高3:特別時間割(~17日)	12 木	成人の日	12 日	高2:全統記述模試(放課後)	12 日	
13 木		13 日	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	13 火	高1:校外学習(~16日)	13 金	成人の日	13 月	高2:全統記述模試(放課後)	13 月	(生徒自宅学習・部活動停止)
14 金		14 月	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	14 水	高1:校外学習(~16日)	14 土	成人の日	14 火	高2:全統記述模試(放課後)	14 火	(生徒自宅学習・部活動停止)
15 土		15 火	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	15 木	高1:校外学習(~16日)	15 日	成人の日	15 水	高2:全統記述模試(放課後)	15 水	試験返却日
16 日		16 水	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	16 金	高1:校外学習(~16日)	16 月	成人の日	16 木	高2:全統記述模試(放課後)	16 木	(生徒自宅学習・部活動停止)
17 月		17 木	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	17 土	高1:校外学習(~16日)	17 火	成人の日	17 金	高2:全統記述模試(放課後)	17 金	(生徒自宅学習・部活動停止)
18 火		18 金	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	18 日	高1:校外学習(~16日)	18 水	成人の日	18 土	高2:全統記述模試(放課後)	18 土	終業式・履任式
19 水		19 土	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	19 月	高1:校外学習(~16日)	19 木	成人の日	19 日	高2:全統記述模試(放課後)	19 日	
20 木		20 火	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	20 水	高1:校外学習(~16日)	20 金	成人の日	20 月	高2:全統記述模試(放課後)	20 月	
21 金		21 木	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	21 木	高1:校外学習(~16日)	21 土	成人の日	21 火	高2:全統記述模試(放課後)	21 火	
22 土		22 金	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	22 土	高1:校外学習(~16日)	22 日	成人の日	22 水	高2:全統記述模試(放課後)	22 水	
23 日		23 土	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	23 日	高1:校外学習(~16日)	23 月	成人の日	23 木	高2:全統記述模試(放課後)	23 木	
24 月		24 日	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	24 月	高1:校外学習(~16日)	24 火	成人の日	24 金	高2:全統記述模試(放課後)	24 金	
25 火		25 月	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	25 火	高1:校外学習(~16日)	25 土	成人の日	25 土	高2:全統記述模試(放課後)	25 土	
26 水		26 火	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	26 水	高1:校外学習(~16日)	26 日	成人の日	26 日	高2:全統記述模試(放課後)	26 日	
27 木		27 木	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	27 木	高1:校外学習(~16日)	27 月	成人の日	27 月	高2:全統記述模試(放課後)	27 月	
28 金		28 金	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	28 火	高1:校外学習(~16日)	28 火	成人の日	28 火	高2:全統記述模試(放課後)	28 火	
29 土		29 土	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	29 水	高1:校外学習(~16日)	29 水	成人の日	29 水	高2:全統記述模試(放課後)	29 水	
30 日		30 日	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	30 木	高1:校外学習(~16日)	30 木	成人の日	30 木	高2:全統記述模試(放課後)	30 木	
31 月		31 月	高3:ハルピカ総合共通テスト模試(放課後)	31 土	高1:校外学習(~16日)	31 土	成人の日	31 土	高2:全統記述模試(放課後)	31 土	
29 (土)	中3:保護者会	5 (土)	中3:保護者会	12 (土)	中3:保護者会	18 (土)	中3:保護者会	18 (土)	中3:保護者会	4 (土)	中1/高2:保護者会
24 (月)~28 (金)	防犯訓練②	10 (木)~12 (土)	中1/中2:保護者会	10 (木)~12 (土)	中1/中2:保護者会	25 (土)	中2:保護者会	25 (土)	中2:保護者会	18 (土)	高1/高2:OB,OG懇談会
		26 (土)	中1:中地城調査	26 (土)	中1:中地城調査					3 (学期)授業日数 高3:13日 高3以外:58日 年間授業日数 中1:228日 高3:214日 それ以外:229日	



# 資料編 3年間総費用

(単位:円)

中1	入学金	230,000	
	授業料	560,000 ※	
	施設設備資金	180,000 ※	
	生徒会費(入会金)	1,000	
	生徒会費(年会費)	4,000	
	学年費	131,000	
	緑会(PTA)費	11,000 *	
年間総額		1,117,000	
中2	授業料	560,000 ※	
	施設設備資金	180,000 ※	
	生徒会費(年会費)	4,000	
	学年費	158,000	
	緑会(PTA)費	11,000 *	
	年間総額		913,000
	中3	授業料	560,000 ※
施設設備資金		180,000 ※	
生徒会費(年会費)		4,000	
学年費		158,000	
緑会(PTA)費		11,000 *	
年間総額		913,000	

生協販売会価格(消費税10%込)(単位:円)

制服・体育用品等	男子	女子
ブレザー	27,398	23,987
冬スラックス/スカート グレー(正装)	11,500	15,000
女子冬スカート チェック		15,000
夏スラックス/スカート グレー(正装)	11,000	12,500
女子夏スカート チェック		14,500
女子冬スラックス グレー(正装)		10,780
女子夏スラックス グレー(正装)		10,200
長袖白シャツ	3,200	3,100
半袖シャツ 白(正装)	4,400	4,400
半袖シャツ ブルー	4,400	4,400
ネクタイ	2,290	2,290
セーター	7,700	7,700
ベスト	6,450	6,450
ハイソックス		916
ローソックス		770
合計	78,338	131,993

※女子スラックスは希望者のみ購入してください。

※授業料・施設設備資金は二期分納・月分納も可

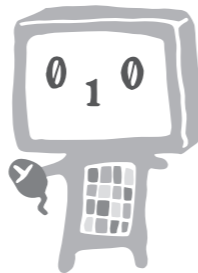
二期分納	4・10月		中学	高校
		授業料	280,000円	305,000円
		施設設備資金	90,000円	90,000円
		合計	370,000円	395,000円

月分納	4・10月		中学	高校
		授業料	50,000円	55,000円
		施設設備資金	90,000円	90,000円
		合計	140,000円	145,000円

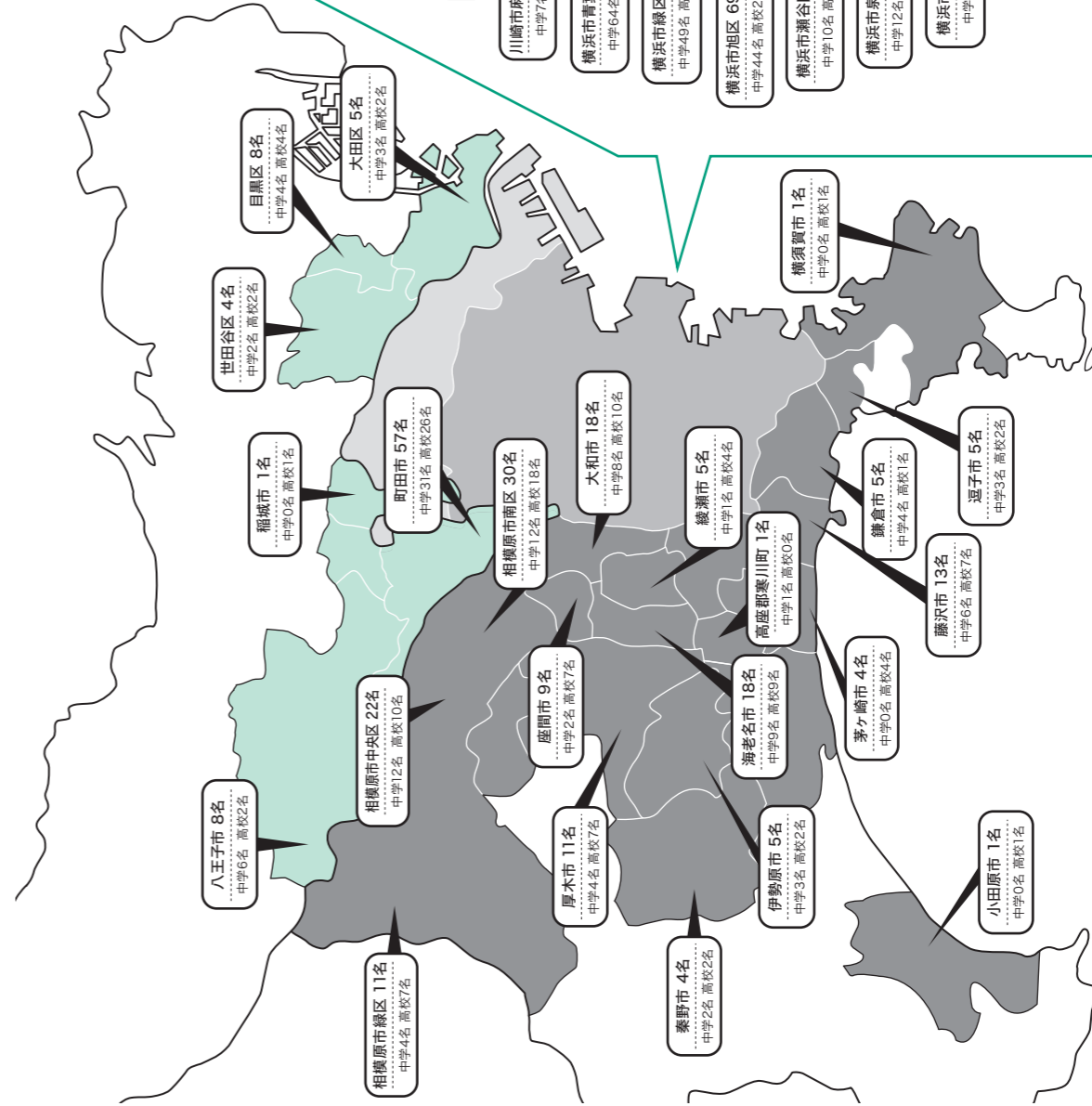
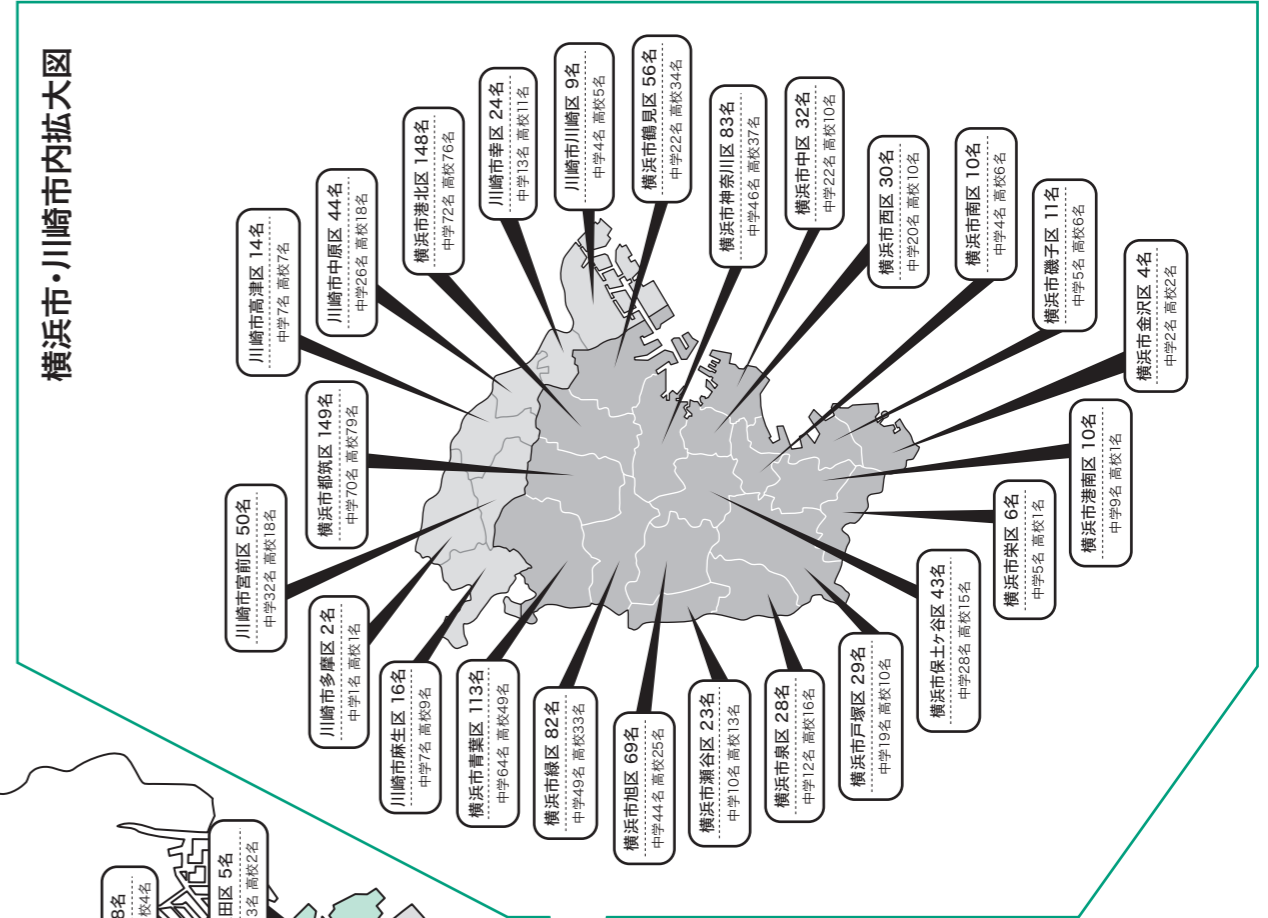
他の月 授業料 46,000円 50,000円のみ

4月に「生徒会費・学年費」が、5月に「緑会(PTA)費」が、それぞれ授業料・施設設備資金と合わせて引き落としされます。

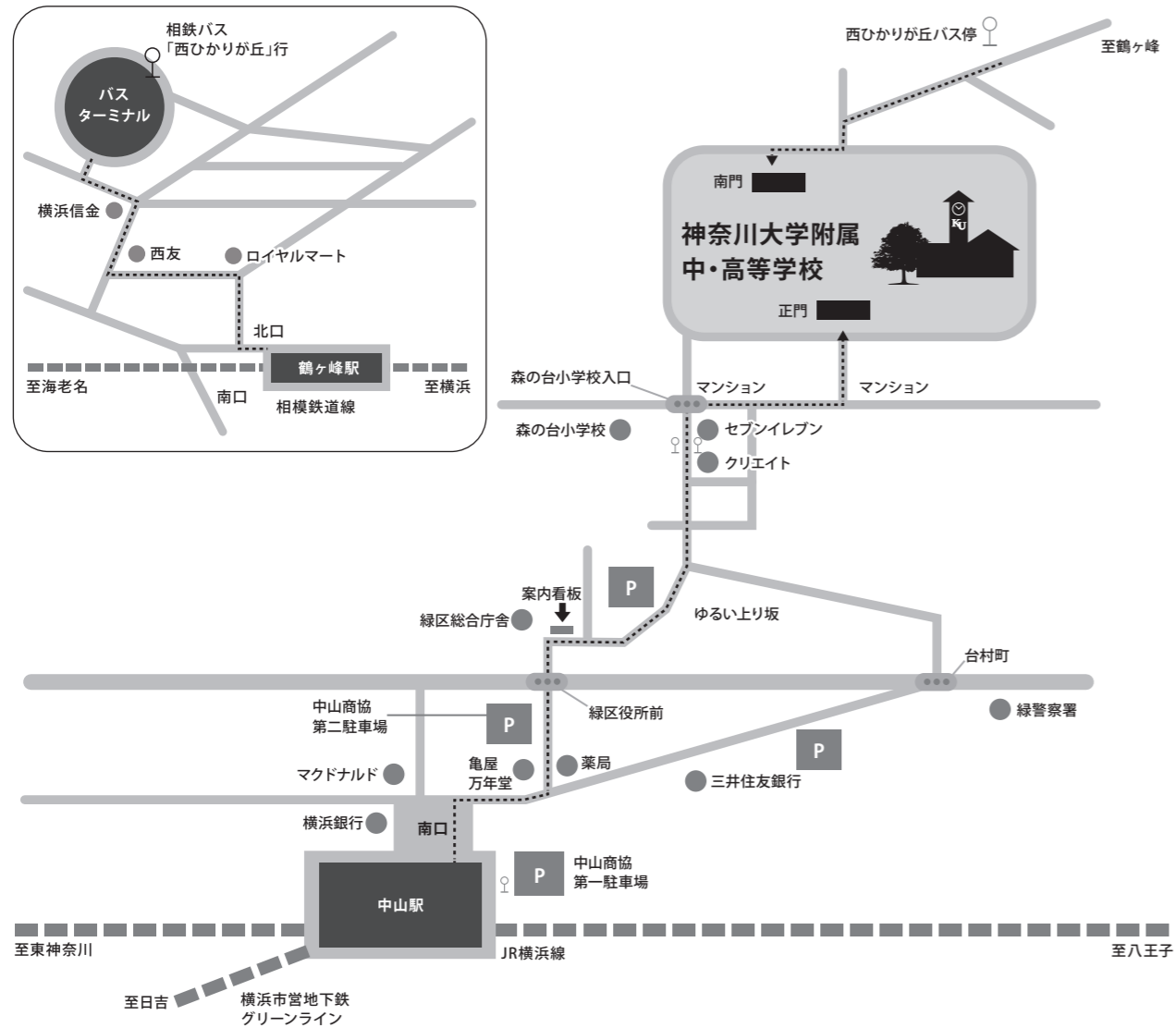
\*在校生の弟妹の緑会費は年間5,000円



# 資料編 在校生の通学地域 在籍 1,335名(2022年度)



# 資料編 学校までの経路



## 駅からのアクセス

### ● JR横浜線／横浜市営地下鉄グリーンライン

- ▶ 「中山駅」下車南口  
→ 徒歩15分(約1km)
- ▶ 横浜市営バス「240系統」  
森の台・台村循環中山駅前  
「森の台小学校入口」下車  
徒歩3分
- ▶ 相鉄バス「旭15」  
鶴ヶ峰駅行  
「森の台小学校入口」下車  
徒歩3分



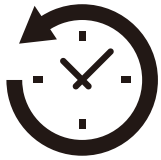
### ● 相模鉄道線「鶴ヶ峰駅」下車北口

- ▶ 相鉄バス「旭11、旭15」  
「西ひかりが丘」(約20分)下車  
徒歩3分



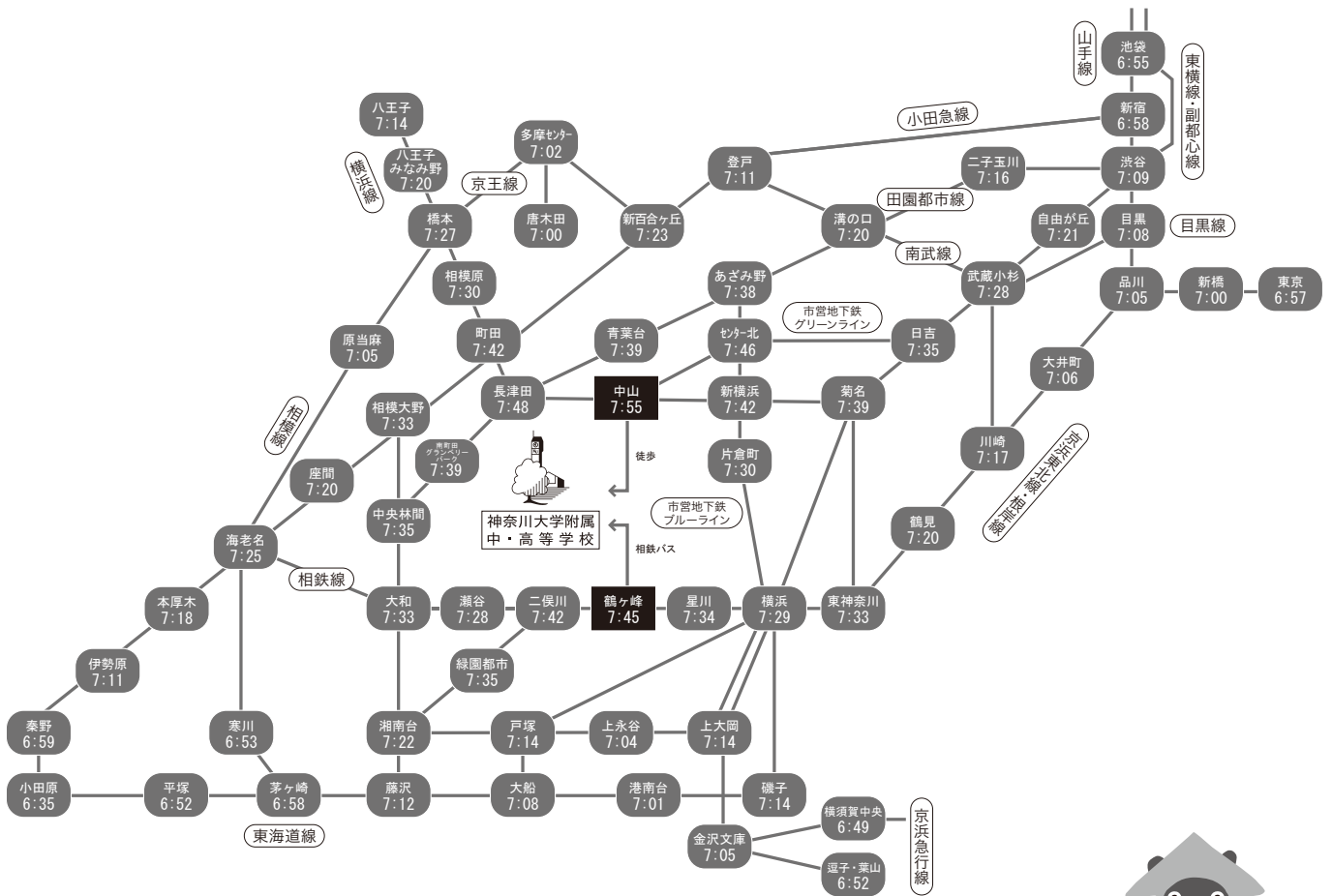
※お車でのご来校はお断りしております。

〒226-0014 横浜市緑区台村町800  
TEL: 045-934-6211 FAX: 045-934-6509  
Eメールアドレス: highschool@kanagawa-u.ac.jp



何時に家を出れば、始業5分前に学校へ着くだろう!?

# 通学時間マップ



- ※始業は8:20です。
- ※生徒が8:15に学校に到着するものとして、最寄り駅からの乗り換え時間を含めた乗車時刻を表示しています。
- ※中山駅に7:55、鶴ヶ峰駅に7:45までに到着する時刻を表示しています。
- ※2021年3月31日現在の時刻表をもとにした目安時間です。

